Panasonic

取扱説明書
（コピー編）
フルカラーデジタル複合機

品番 DP-C262/C262F
DP-C322/C322F

WORKIO™

このたびは、パナソニック フルカラーデジタル複合機をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
■特に『取扱説明書（基本編）』の「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

● イラストはオプションを装着した例です。詳しくは、『取扱説明書（基本編）』を参照してください。

上手に使って上手に節電

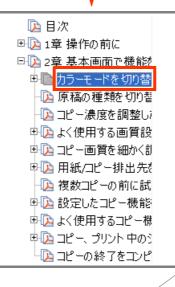
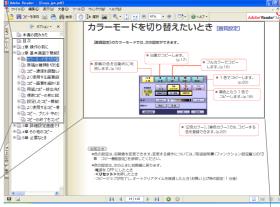
本書の読みかた

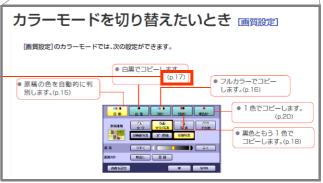
ここでは、PDF のしおりの使いかた、参照ページの表示方法、本書の表記について説明します。

❑ しおりの使いかた

[+]をクリックすると、下の階層が表示されます。

目次
1章 操作の前に
2章 基本画面で機能
3章 詳細設定画面で
4章 その他のコピー
5章 必要なとき

タイトルをクリックすると、該当するページが表示されます。

❑ 参照ページの表示方法

ページ番号をクリックすると、該当するページが表示されます。

(上記画面の内容は、実際の取扱説明書と異なる場合があります。)

❑ 本書の表記について

● 本書では、本機の操作パネルの各キー、タッチパネルディスプレイ上のボタン、コンピューター画面上のボタンなどについて、下記のように表記しています。

< >	操作パネルの各キー(例:スタートキー→**<スタート>**)
[ ]	タッチパネルディスプレイ上の各ボタン、コンピューター画面上のボタンなど (例:基本ボタン→[基本])

● 本機のタッチパネルディスプレイ上のカタカナ文字は、半角と全角が一部混在していますが、本書では、説明文はすべて全角に統一して表記しています。

目次

３章　詳細設定画面で機能を設定してコピーする

4 章 その他のコピー

5 章 必要なとき

1 章
操作の前に

この章では、コピー機能のメニューマップと基本的な操作について説明しています。

メニューマップ

コピーの画面に表示されるメニューと本書の参照先は、次のとおりです。

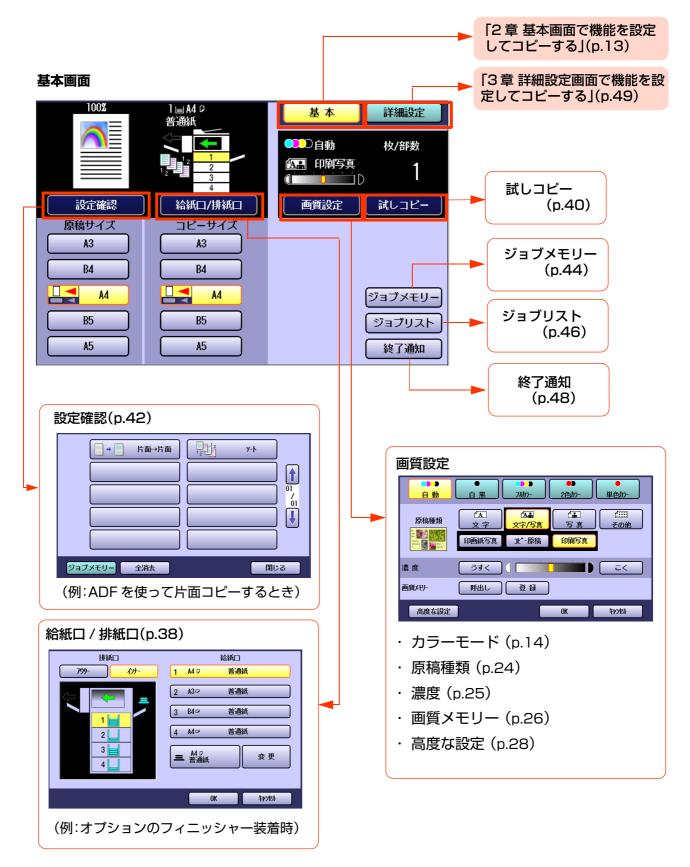
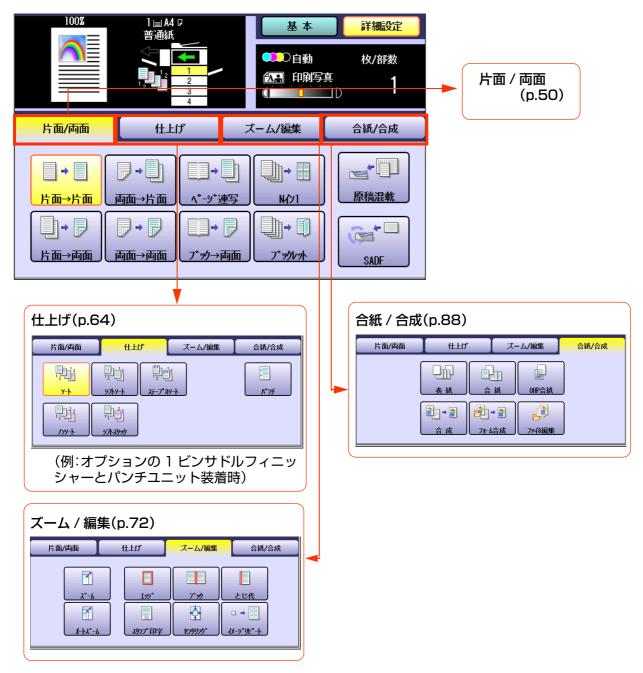
詳細設定画面

片面 / 両面
(p.50)

仕上げ(p.64)

(例:オプションの 1 ビンサドルフィニッシャーとパンチユニット装着時)

合紙 / 合成(p.88)

ズーム / 編集(p.72)

暗証番号入力画面

部門カウンター管理が設定されていると、左の画面が表示されます。部門の暗証番号を入力してください。部門の暗証番号については、本機の管理者にお問い合わせください。

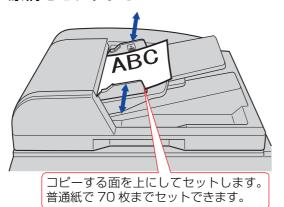
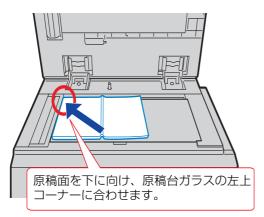
基本的なコピー操作

ここでは、次の基本的なコピー操作について説明します。

❑ 等倍でコピーする(p.10)
❑ 拡大 / 縮小してコピーする(p.12)

■原稿と同じサイズでコピーする

原稿をセットすると、原稿サイズが自動的に検知され、等倍のコピーサイズが設定されます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて、コピー機能を設定する

- [原稿サイズ]と[コピーサイズ]は、原稿サイズを検知して自動的に選択されます。
- 原稿の向きと用紙の向きが異なるときは、自動的に画像を回転してコピーします。
- 基本画面の操作について、詳しくは「2 章 基本画面で機能を設定してコピーする」(p.13)を参照してください。
- 詳細設定画面の操作について、詳しくは「3 章 詳細設定画面で機能を設定してコピーする」(p.49)を参照してください。

4. コピー部数を入力する (999 部まで)

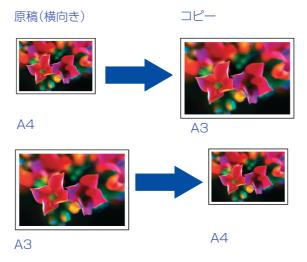
- ファクス機能が搭載されているときは、4～8桁の数字を入力すると、自動的にファクスモードに切り替わることがあります。

5. <スタート>を押す

- コピーを中止するときは、**<ストップ>**、または[ストップ]を押して、中止を確認する画面で[はい]を押してください。

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

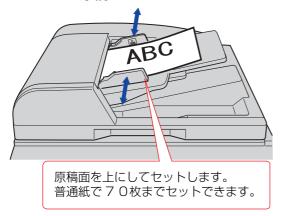
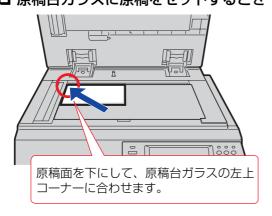
■拡大 / 縮小してコピーする

原稿をセットすると、自動的にコピーサイズが等倍に設定されますが、コピーサイズを変更することによって、拡大 / 縮小してコピーできます。

1. 原稿を横向き（ ）にセットする

❑ ADF に原稿をセットするとき

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で７０枚までセットできます。

❑ 原稿台ガラスに原稿をセットするとき

原稿面を下にして、原稿台ガラスの左上コーナーに合わせます。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

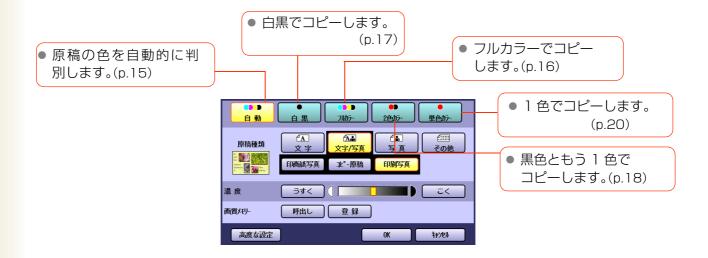
3. コピーサイズを変更する

- 選択した[コピーサイズ]に合わせて拡大 / 縮小が設定され、倍率(%)がタッチパネルディスプレイに表示されます。
- A4、A5 サイズでコピーするときは、コピーサイズで A4 、A5 を選択すると、連続でのコピースピードが早くなります。コピーされたイメージは、自動で 90 度回転されます。
- このあとの操作については、「原稿と同じサイズでコピーする」(p.10)の手順３～５を参照してください。

2章
基本画面で機能を設定してコピーする

この章では、基本設定を使ったコピーの操作について説明しています。

カラーモードを切り替えたいとき [画質設定]

[画質設定] のカラーモードでは、次の設定ができます。

● [2色カラー]、[単色カラー] では、コピーする色を登録できます。(p.22)

お知らせ

●色の設定は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

●色の設定は、次のときに初期値に戻ります。
・電源を OFF にしたとき
・**<リセット>**を押したとき
・コピージョブが完了し、オートクリアタイムを経過したとき(お買い上げ時の設定：1 分後)

■原稿の色を自動検知させる［自動］

原稿の色を自動的に判別し、カラーのときはフルカラーで、白黒のときは白黒でコピーします。

カラー原稿

お知らせ

●お買い上げ時のカラーモードは、[自動]に設定されているので、通常は操作する必要はありません。キーオペレーターによって、カラーモードの初期値が変更されているときに設定します。

1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [画質設定]を押す

4. [自動]を選択し、[OK]を押す

5. コピー部数を入力する

6. <スタート>を押す

● 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■フルカラーモードに切り替える ［フルカラー］

カラー原稿をフルカラーでコピーします。

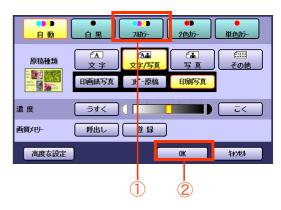
カラー原稿

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. ［画質設定］を押す

4. ［フルカラー］を選択し、［OK］を押す

5. コピー部数を入力する

6. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■白黒モードに切り替える [白黒]

原稿の色に関係なく、白黒でコピーします。

カラー原稿

1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[画質設定]を押す**

4. **[白黒]を選択し、[OK]を押す**

5. **コピー部数を入力する**

6. **<スタート>を押す**

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定：1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■2 色モードに切り替える ［2 色カラー］

黒色と設定したもう１色の２色でコピーします。もう１色は、基本色（赤、緑、青、イエロー、マゼンタ、シアン）、または登録した色から選択できます。

例：カラー原稿をシアンと黒でコピー

お知らせ

- ［2 色カラー］を設定しているときは、「原稿種類」は設定できません。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/E メールのとき）」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. ［画質設定］を押す

4. ［2 色カラー］を選択する

5. ［色変更］を押す

- 設定されている色と色名が表示されます。
- 色を変更しないときは、手順７に進んでください。

6. 色を選択し、［OK］を押す

❑ 基本色から選択するとき

❑ 登録した色から選択するとき

- 色を登録する操作については、「お好み色を登録する［色の登録］」（p.22）を参照してください。

7. [OK]を押す

例:シアンを選択したとき

8. コピー部数を入力する

9. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■単色モードに切り替える ［単色カラー］

設定した色でコピーします。色は、基本色（赤、緑、青、イエロー、マゼンタ、シアン）、または登録した色から選択できます。

例：カラー原稿をシアンでコピー

例：白黒原稿をシアンでコピー

お知らせ

● ［単色カラー］を設定しているときは、「原稿種類」は設定できません。

1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. ［画質設定］を押す

4. ［単色カラー］を選択する

5. ［色変更］を押す

● 設定されている色と色名が表示されます。

● 色を変更しないときは、手順7に進んでください。

6. 色を選択し、［OK］を押す

❑ 基本色から選択するとき

❑ 登録した色から選択するとき

● 色を登録する操作については、「お好み色を登録する［色の登録］」（p.22）を参照してください。

7. [OK]を押す

例:シアンを選択したとき

8. コピー部数を入力する

9. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■お好み色を登録する ［色の登録］

シアン、マゼンタ、イエローの割合値を指定して作成した色を6色まで登録できます。登録した色は、次の機能で使用できます。

機能	参照先
［基本］＞［画質設定］＞［2 色カラー］	「2 色モードに切り替える ［2 色カラー］」（p.18）
［基本］＞［画質設定］＞［単色カラー］	「単色モードに切り替える ［単色カラー］」（p.20）
［詳細設定］＞［合紙 / 合成］＞［合成］	「1 ページ目の原稿と合成する ［合成］」（p.94）
［詳細設定］＞［合紙 / 合成］＞［ファイル編集］	「フォームを登録する ［ファイル編集］」（p.99）

お知らせ

- ●登録色は、番号と名称で管理されます。例えば、［2色カラー］と［単色カラー］で同じ番号の登録色を使用していた場合、［2色カラー］でその番号の色を変更すると、［単色カラー］の色も変更されます。
- ●登録した名前や色設定などを変更するときは、登録した色のボタンを押して、変更が必要な部分だけを再設定してください。
- ●登録色の削除は、ファンクション設定で行います。操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

1. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

2. ［画質設定］を押す

3. ［2 色カラー］、または［単色カラー］を選択する

4. ［色変更］を押す

例：［2 色カラー］を選択したとき

5. ［色の登録］を押す

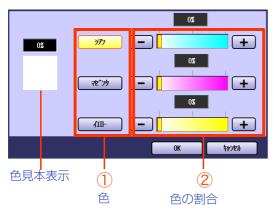
6. 登録するボタンを押し、[OK]を押す

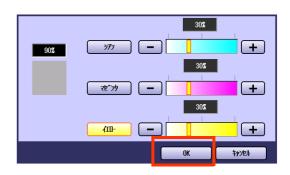
❑ 新しく登録するとき

名称が表示されていないボタンを押します。

❑ 登録されている色を変更するとき

変更する色のボタンを押します。

7. 設定する色を選択し、色の割合を[−]、[+]、またはテンキーを使って設定する

- 設定した色は、画面の色見本表示で確認できます。
- [シアン]、[マゼンタ]、[イエロー]の合計が240%以下になるように設定してください。

8. 色の設定が終わったら、[OK]を押す

9. 画面のキーボードを使って登録した色の名称を入力し、[OK]を押す

- 全角 10 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

10. 設定した色と名称を確認し、[OK]を押す

原稿の種類を切り替えたいとき [画質設定]＞[原稿種類]

文字原稿、写真原稿など、原稿のタイプに合わせた画質でコピーします。

文字原稿

文字 / 写真混在原稿

写真原稿

その他の原稿

お知らせ

- [2 色カラー]、または[単色カラー]を設定しているときは、[原稿種類]は設定できません。
- 「原稿種類」は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [画質設定]を押す

4. 「原稿種類」を選択し、[OK]を押す

① ②

文字	印刷文字	印刷原稿
	鉛筆文字	鉛筆書き原稿
文字 / 写真	印画紙写真	印画紙に印刷された原稿
	コピー原稿	レーザープリンターで印刷された原稿
	印刷写真	パンフレットなどの印刷物
写真	印画紙写真	印画紙に印刷された写真
	コピー原稿	レーザープリンターで印刷された写真
	印刷写真	パンフレットなどの写真
その他	地図	地図
	トレーシングペーパー	紙の厚さが薄い原稿
	新聞	背景が白以外の原稿

5. コピー部数を入力する

6. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定：1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

コピー濃度を調整したいとき [画質設定] > [濃度]

コピーする色をうすくしたり、濃くしたりしてコピーします。

うすく

こく

お知らせ

●「濃度」は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [画質設定]を押す

4. [うすく]、[こく]を押して濃度を設定し、[OK]を押す

うすく	色をうすくコピーしたいとき
こく	色を濃くコピーしたいとき

5. コピー部数を入力する

6. <スタート>を押す

● 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

よく使用する画質設定を登録したいとき [画質メモリー]

よく使う画質の設定を画質メモリーとして登録しておくと、設定を呼び出して簡単にコピーできます。

お知らせ

- 画質メモリーを呼び出す操作については、「呼び出してコピーする［呼出し］」(p.27)を参照してください。
- 一度登録した画質メモリーは、新しい設定を上書きするまで削除されません。

■登録する [登録]

次の画質の設定を画質メモリーとして登録できます。

- ❑ カラーモード(自動、白黒、フルカラー、2 色カラー、単色カラー)
- ❑ 原稿種類
- ❑ 濃度
- ❑ 高度な設定(地色除去、裏写り防止、赤み青み強調、コントラスト、シャープネス、彩度、カラーバランス、ほか)

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [画質設定]を押す

4. 画質の設定をする

5. [登録]を押す

(例:原稿種類を[コピー原稿]に設定するとき)

6. 画質メモリーボタンを選択して[OK]を押す

❑ 新しく画質メモリーを登録するとき

名称が表示されていない画質メモリーボタンを押します。

❑ 画質メモリーを更新するとき

更新する画質メモリーボタンを押します。

7. 画質メモリー名を入力し、[OK]を押す

- 名称なしでは、登録できません。
- 全角 10 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

8. [OK]を押す

9. コピー部数を入力する

10. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■呼び出してコピーする[呼出し]

画質メモリーとして登録されている画質設定を呼び出してコピーできます。

お知らせ

画質メモリーを登録する操作については、「登録する [登録]」(p.26)を参照してください。

1. [呼出し]を押す

- この画面を表示する操作については、「登録する [登録]」(p.26)の手順 1 〜 3 を参照してください。

2. 画質メモリーボタンを選択し、[OK]を押す

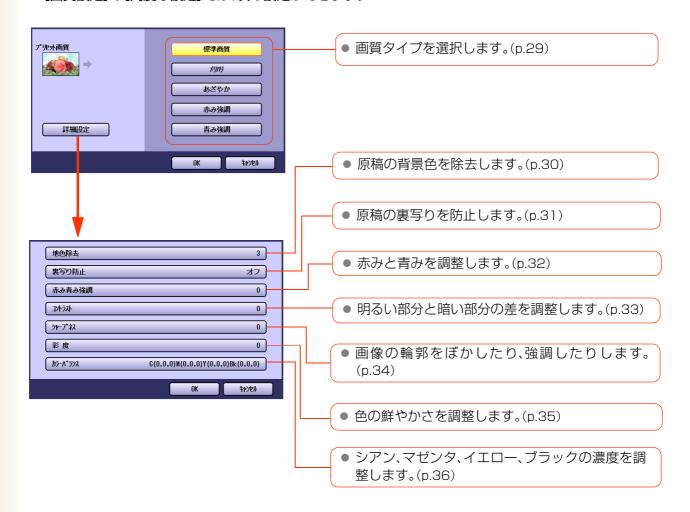
選択した画質メモリーの画質が設定されます。

3. [OK]を押す

- このあとの操作については、左コラムの手順 9 〜 10 を参照してください。

コピー画質を細かく調整したいとき

[画質設定]＞[高度な設定]

[画質設定]の[高度な設定]では、次の設定ができます。

お知らせ

- [詳細設定]の各項目は、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- 画質設定は、次のときに標準設定に変わります。
  - ･電源を OFF にしたとき
  - ･**<リセット>**を押したとき
  - ･[高度な設定]の[標準画質]を設定したとき
  - ･オートクリアタイムを経過したとき(お買い上げ時の設定:1 分後)
- [詳細設定]を設定すると、メリハリ、あざやかなどの画質タイプの設定は、取り消されます。

■メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる ［高度な設定］

次の５つの画質タイプから選択して画質を設定できます。

・標準画質　・メリハリ　・あざやか
・赤み強調　・青み強調

1. **原稿をセットする**

● 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **［画質設定］を押す**

4. **［高度な設定］を押す**

5. **画質タイプを選択して、［OK］を押す**

標準画質	ファンクション設定で設定した初期値の画質でコピーしたいとき
メリハリ	メリハリのある画質でコピーしたいとき
あざやか	あざやかな画質でコピーしたいとき
赤み強調	赤っぽくコピーしたいとき
青み強調	青っぽくコピーしたいとき

● ［原稿種類］で［トレーシングペーパー］を選択したときは、各画質タイプとも［裏写り防止］が「3」に設定されます。

● ［標準画質］の設定値は、キーオペレーターがファンクション設定で変更できます。

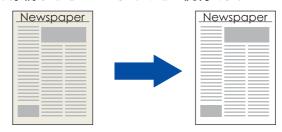
6. **［OK］を押す**

7. **コピー部数を入力する**

8. **<スタート>を押す**

● 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：１分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■原稿の背景色を除去する ［地色除去］

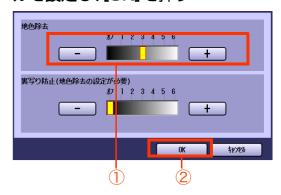
原稿の背景色を除去してコピーできます。
新聞や背景に色がついている原稿などをコピーするときに便利です。

お知らせ

- 「原稿種類」で［写真］を選択しているときは、［地色除去］の設定は自動的に［オフ］となります。

1. ［詳細設定］を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.29)の手順 1 〜 4 を参照してください。

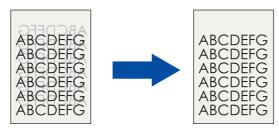
2. ［地色除去］を押す

3. ［−］、［+］を押して［地色除去］のレベルを設定し、［OK］を押す

地色除去	6 つのレベルで設定します。レベル値が高くなるほど、濃い背景色を除去できます。

4. ［OK］を押す

- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.29)の手順 6 〜 8 を参照してください。

■裏写りを防止する ［裏写り防止］

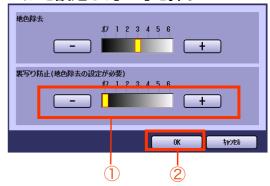
紙の厚さが薄い原稿をコピーするとき、裏写りを防止してコピーできます。

お知らせ

- 「原稿種類」で［写真］を選択しているときは、［裏写り防止］の設定は無効となります。
- 「原稿種類」で［トレーシングペーパー］を選択しているときは、［裏写り防止］は自動的にレベル３に設定されます。
- ほかの設定（赤み青み強調など）によっては、裏写りすることがあります。

1. ［詳細設定］を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」（p.29）の手順１～４を参照してください。

2. ［裏写り防止］を押す

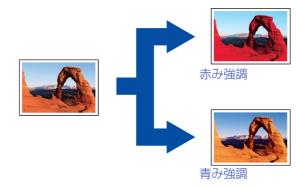
3. ［−］、［＋］を押して、［裏写り防止］のレベルを設定し、［OK］を押す

- 「地色除去」が［オフ］に設定されていると、「裏写り防止」が設定できません。

裏写り防止	６つのレベルで設定します。レベル値が高くなるほど、防止効果が高まります。ただし、高く設定するほど、コピーイメージもうすくなります。

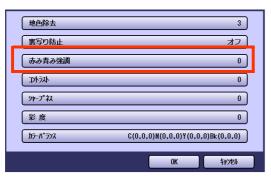
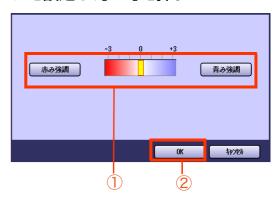
4. ［OK］を押す

- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」（p.29）の手順６～８を参照してください。

■赤みと青みを調整する ［赤み青み強調］

赤みと青みの強さを調整してコピーできます。

1. ［詳細設定］を押す

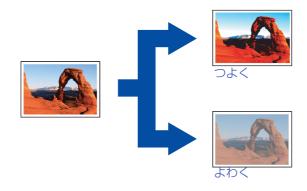
- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.29)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. ［赤み青み強調］を押す

3. ［赤み強調］、［青み強調］を押して色合いを設定し、［OK］を押す

赤み強調	赤っぽくしたいとき（青みが弱くなります）
青み強調	青っぽくしたいとき（赤みが弱くなります）

4. ［OK］を押す

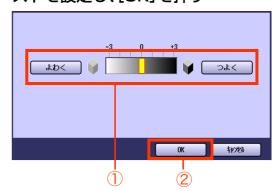
- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.29)の手順 6 ～ 8 を参照してください。

■コントラストを調整する ［コントラスト］

明るい部分と暗い部分の差を調整してコピーできます。

1. ［詳細設定］を押す

● この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.29)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

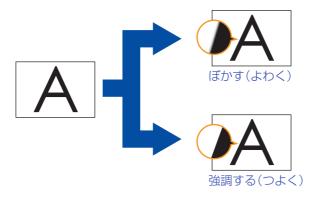
2. ［コントラスト］を押す

3. ［よわく］、［つよく］を押して、コントラストを設定し、［OK］を押す

よわく	明るい部分と暗い部分の差をなくしたいとき
つよく	明るい部分と暗い部分の差をはっきりさせたいとき

4. ［OK］を押す

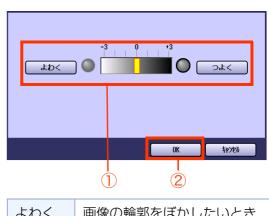
● このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる［高度な設定］」(p.29)の手順 6 ～ 8 を参照してください。

■画像のシャープさを調整する [シャープネス]

画像の輪郭をぼかしたり、強調したり、調整してコピーできます。

1. [詳細設定]を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる [高度な設定]」(p.29)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. [シャープネス]を押す

3. [よわく]、[つよく]を押して、シャープネスを設定し、[OK]を押す

よわく	画像の輪郭をぼかしたいとき
つよく	画像の輪郭を強調したいとき

4. [OK]を押す

- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる [高度な設定]」(p.29)の手順 6 ～ 8 を参照してください。

■彩度を調整する ［彩度］

色の鮮やかさの度合いを調整してコピーできます。

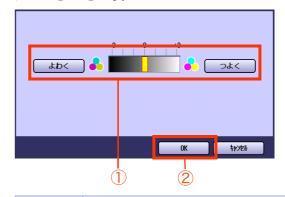
よわく

つよく

1. ［詳細設定］を押す

- この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる ［高度な設定］」(p.29)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. ［彩度］を押す

3. ［よわく］、［つよく］を押して、彩度を設定し、［OK］を押す

よわく	色の鮮やかさの度合いを弱くしたいとき
つよく	色の鮮やかさの度合いを強くしたいとき

4. ［OK］を押す

- このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる ［高度な設定］」(p.29)の手順 6 ～ 8 を参照してください。

■カラーバランスを調整する ［カラーバランス］

シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックのそれぞれの色に対して、高濃度、中濃度、低濃度のレベルを調整してコピーできます。

お知らせ

●色ごとに濃度を 3 つの段階に分け、その段階ごとに微調整することができます。
この設定は、カラー写真の微調整などに使用するための機能です。各段階で調整できる範囲は、ごくわずかなので、画像編集ソフトウェアのように、色合いを大きく変化させることはできません。

1. ［詳細設定］を押す

● この画面を表示する操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる ［高度な設定］」(p.29)の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. ［カラーバランス］を押す

3. ［シアン］を押し、［−］、［+］を押して「高濃度」、「中濃度」、「低濃度」の範囲内の濃度をそれぞれ設定する

● 濃度の区分は、最も濃いレベル(100%)から、最もうすいレベル(0%)までを 3 等分したものです。

高濃度	最も濃い範囲
中濃度	高濃度と低濃度の中間の範囲
低濃度	最もうすい範囲

4. 手順 3 と同じ操作で、［マゼンタ］、［イエロー］、［ブラック］の各濃度を設定する

5. すべての色の設定が終わったら［OK］を押す

6. ［OK］を押す

● このあとの操作は、「メリハリ、あざやか、赤み、または青みを効かせる ［高度な設定］」(p.29)の手順 6 ～ 8 を参照してください。

用紙 / コピー排出先を切り替えたいとき [給紙口 / 排紙口]

給紙口の設定では、給紙カセットの選択や手差しトレイの用紙の種類を設定することができます。
排出口の設定では、オプションのフィニッシャーが装着されているときに、排出先をフィニッシャーと排出トレイとで切り替えることができます。

■コピーする用紙を選択する

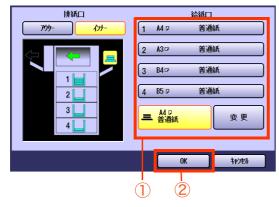
コピーサイズを設定すると、自動で給紙カセットが選択されますが、手動で切り替えたいときは、次の手順で設定します。

お知らせ

- 給紙カセットの用紙種別を設定する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「2 章 共通機能設定」を参照してください。

1. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

2. [給紙口 / 排紙口]を押す

3. 給紙口 1 ～ 4、または手差しトレイを選択し、[OK]を押す

コピーする用紙が選択されます。

■給紙カセットにない用紙でコピーする(手差しトレイ)

給紙カセットにない用紙にコピーしたいときは、手差しトレイに用紙をセットし、次の手順で用紙の種類を設定します。

お知らせ

- 手差しトレイにセットにできる用紙については、『取扱説明書(基本編)』の「用紙について」を参照してください。

1. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

2. [給紙口 / 排紙口]を押す

- 原稿の向きと手差しトレイの用紙の向きが異なるとき、コピーイメージの表示が次のようになることがあります。その場合は、原稿と手差しトレイの用紙が、同じ向きになるようにセットし直してください。

向きが異なるとき　100%　→　向きが同じとき　100%

3. [変更]を押す

4. **[用紙種別変更]を押す**

5. **用紙の種別を選択し、[OK]を押す**

6. **[OK]を押す**

用紙の種類が設定されます。

■コピー排出先を切り替える

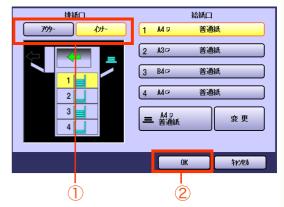
オプションのフィニッシャーを装着しているときは、必要に応じて、コピーの排出先をアウター(フィニッシャー)にしたり、インナー(排出トレイ)にしたりすることができます。

お知らせ

- 排紙口は、初期値を変更することができます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「2 章　共通機能設定」を参照してください。

1. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

2. **[給紙口 / 排紙口]を押す**

3. **「排紙口」を選択し、[OK]を押す**

排紙口が設定されます。

複数コピーの前に試しのコピーをしたいとき

[試しコピー]

複数部数コピーするときは、確認用として１部目だけ試しにコピーしたあとで、残りを継続してコピーできます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて画質の設定をする

4. コピー部数を入力する

5. [試しコピー]を押す

6. <スタート>を押す

１部目だけ排出されます。

7. 試したコピー設定で良いときは、[はい]を押す

残りの部数がコピーされます。

❑ 試しコピーを再度とりたいときは

① [いいえ]を押して、基本画面に戻る
② 原稿を再度セットする
③ 読み取りの設定を変更する
④ **<スタート>**を押す
試しコピーが１部排出されます。
⑤ 再度設定したコピー設定で良いときは、[はい]を押す
残りの部数がコピーされます。

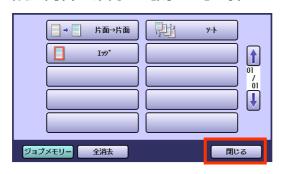
設定したコピー機能を確認したいとき [設定確認]

コピーを始める前に設定した内容を確認できます。また、設定を変更したり、取り消したりできます。

■設定を確認する

設定した内容を確認できます。

1. [設定確認] を押す

2. 設定内容を確認し、[閉じる] を押す

（例：エッジ機能を設定してADFからコピーするとき）

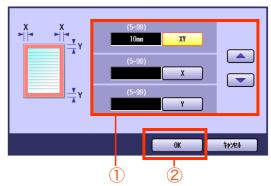
■設定を変更する

設定した内容を変更できます。

1. 変更する設定を押す

- [片面→片面] からの変更はできません。

2. 設定を変更して [OK] を押す

例：[エッジ] の設定を変更する場合

3. [閉じる] を押す

■すべての設定を取り消す

設定をすべて取り消して、初期値の状態に戻すことができます。

1. **[全消去]を押す**

（例：エッジ機能を設定してADFからコピーするとき）

設定がすべて取り消され、初期値の状態に戻ります。

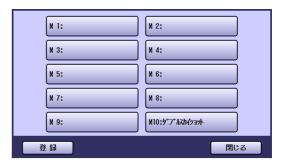
2. **設定の取り消しが終了したら、[閉じる]を押す**

■設定をジョブメモリーに登録する

設定した内容をジョブメモリーとして登録することができます。

1. **[ジョブメモリー]を押す**

（例：エッジ機能を設定してADFからコピーするとき）

2. **設定をジョブメモリーとして登録する**

- ジョブメモリーを登録する操作については、「よく使用するコピー機能を登録したいとき [ジョブメモリー]」（p.44）の手順６～８を参照してください。

3. **ジョブメモリーの登録が終了したら、[閉じる]を押す**

よく使用するコピー機能を登録したいとき

[ジョブメモリー]

■ジョブメモリーに登録する

画質や仕上げの設定など、よく使う設定をジョブメモリーとして登録できます。

お知らせ

- ジョブメモリーを呼び出す操作については、「ジョブメモリーを呼び出す」(p.45)を参照してください。
- 一度登録したジョブメモリーは、新しい設定を上書きするまで削除されません。
- 試しコピーは、ジョブメモリーに登録できません。
- 伝票モードが設定されているときは、ジョブメモリーを[M1]と[M2]に登録することはできません。伝票モードについて、詳しくは、「設定された範囲だけコピーしたいとき [伝票モード]」(p.105)を参照してください。

1. **原稿をセットする**

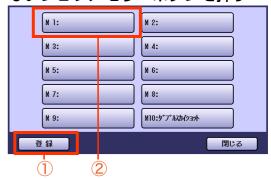
- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **登録したいコピー機能を設定する**

4. **コピー部数を入力する**

5. **[ジョブメモリー]を押す**

6. **[登録]を押して、名称が表示されていないジョブメモリーボタンを押す**

- 設定が登録されているジョブメモリーボタンには、名称が表示されています。

7. **ジョブメモリー名を入力し[OK]を押す**

- 全角 10 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

手順 6 の画面に戻ります。

8. **手順 6 の画面で、[閉じる]を押す**

■ジョブメモリーを呼び出す

登録されているジョブメモリーを呼び出してコピーできます。
お買い上げ時には、「ダブルスカイショット」が[M10]に設定されています。

- 「ダブルスカイショット」については、「両面原稿を片面 1 枚にまとめてコピーしたいとき ［ダブルスカイショット］」(p.108)を参照してください。

お知らせ

- ジョブメモリーを登録する操作については、「ジョブメモリーに登録する」(p.44)を参照してください。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. ［ジョブメモリー］を押す

4. 呼び出したいジョブメモリーボタンを押す

- 設定が登録されているジョブメモリーボタンには、名称が表示されています。

ジョブメモリーの呼び出しを確認する画面が表示されます。

5. ［閉じる］を押す

ジョブメモリーの設定が反映されます。

6. ジョブの内容を確認するときは、［設定確認］を押す

- 設定を変更する操作については、「設定を変更する」(p.42)を参照してください。

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

コピー、プリント中のジョブを表示させたいとき

[ジョブリスト]

本機が原稿を読み取り、コピーした用紙を排出するまでの一連の動作をジョブと呼びます。
実行中、または待機中のすべてのジョブ、またはコピーのジョブを一覧表示できます。
また、待機中のジョブを削除することもできます。

■一覧表示させる

コピーのジョブを一覧表示できます。

1. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

2. [ジョブリスト]を押す

❑ コピー/ プリント中以外のとき

❑ コピー/ プリント中のとき

実行中、または待機中のすべてのジョブが一覧表示されます。

3. [コピージョブ]を押す

実行中、または待機中のジョブのうち、コピーのジョブが一覧表示されます。

4. [閉じる]を押す

■コピージョブを削除する

待機中のジョブを削除できます。

1. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

2. **[ジョブリスト]を押す**

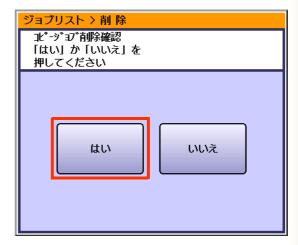
実行中、または待機中のすべてのジョブが一覧表示されます。

3. **[コピージョブ]を押す**

4. **削除するジョブを選択し、[削除]を押す**

- すべてのジョブを削除するときは、[全て選択]を押して、[削除]を押します。

ジョブの削除を確認する画面が表示されます。

5. **[はい]を押す**

選択したジョブが削除されます。

- 印刷中のジョブは、[削除]を押すタイミングによって、削除されないことがあります。

6. **[閉じる]を押す**

コピーの終了をコンピューターに通知させたいとき

[終了通知]

コピーの終了をコンピューターに通知する設定をしてコピーできます。

お知らせ

●この機能を使用するためには、通知先のコンピューターに Panasonic コミュニケーションユーティリティと Completion Notice がインストールされている必要があります。

●Panasonic コミュニケーションユーティリティは、Panasonic Document Management System をインストールすると同時にインストールされます。詳しくは、『取扱説明書(セットアップ編)』の「Panasonic Document Management System のインストール」を参照してください。

●Completion Notice は、プリンタードライバー、またはファクスドライバーをインストールすると同時にインストールされます。詳しくは、『取扱説明書(セットアップ編)』の「プリンタードライバーのインストール」を参照してください。

1. 原稿をセットする

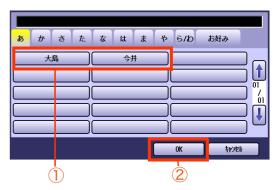
● 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて画質の設定をする

4. [終了通知]を押す

5. 検索タブ([あ]～[お好み])を選択して、通知先のコンピューターを表示する

6. 通知先のコンピューターを選択し、[OK]を押す

● 上記の画面にコンピューター名を表示するためには、通知先のコンピューターの Panasonic コミュニケーションユーティリティで、コンピューター名を本機に登録して、タスクバーに Panasonic コミュニケーションユーティリティのアイコンを表示する必要があります。
詳しくは、『取扱説明書(セットアップ編)』の「コミュニケーションユーティリティのセットアップ」を参照してください。

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

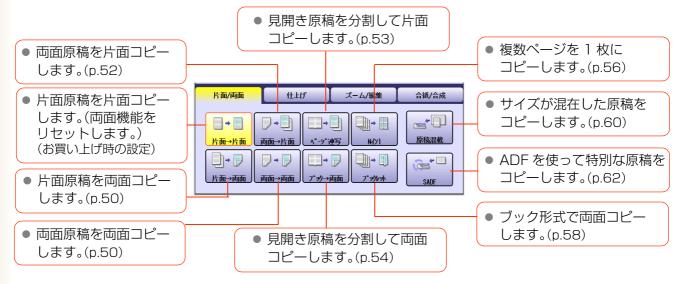
コピーが終了したら、設定したコンピューターにコピーが終了したことが通知されます。

● 本機からの終了通知を受信するためには、通知先のコンピューターのタスクバーに Completion Notice のアイコンが表示されている必要があります。詳しくは、『取扱説明書(セットアップ編)』の「Completion Notice を設定する」を参照してください。

3章
詳細設定画面で機能を設定してコピーする

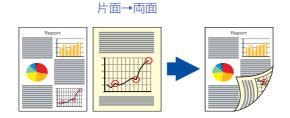
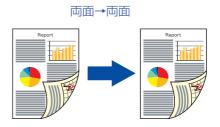
この章では、詳細設定を使ったコピーの操作について説明しています。

両面コピーモードを切り替えたいとき [片面 / 両面]

詳細設定画面の[片面 / 両面]タブでは、次の設定ができます。

お知らせ

- [片面/両面] タブは、初期値を変更できます。変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- 両面コピーができる用紙は、普通紙、上質紙、再生紙(64g/ m²～ 105g/ m²)だけです。
- A5 サイズの用紙は、両面コピーできません。

■片面 / 両面原稿を両面にコピーする [片面→両面]/[両面→両面]

片面原稿、または両面原稿を用紙の両面にコピーします。

片面→両面

両面→両面

- この機能は、原稿をADFにセットしたときに使用できます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. 片面原稿を両面コピーするときは[片面→両面]を、両面原稿を両面コピーするときは[両面→両面]を押す

- [原稿混載]を設定しているときは、[両面→両面]を設定できません。[片面→両面]は、[原稿混載]を選択したときに表示される[両面] を押して設定します。
- [両面→両面]は、原稿を ADF にセットしたときだけ設定できます。

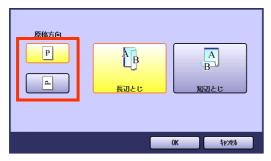
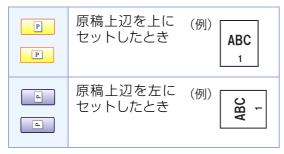
5. 原稿の向きを選択する

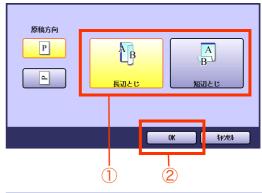
❑ **[片面→両面]を選択したとき**

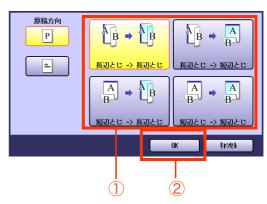
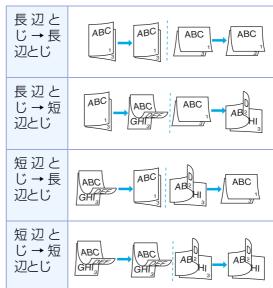
画面例：原稿を縦向き(　)にセットしたとき

❑ **[両面→両面]を選択したとき**

画面例：原稿を縦向き(　)にセットしたとき

	原稿上辺を上にセットしたとき	(例) ABC 1
	原稿上辺を左にセットしたとき	(例) ABC 1

6. とじ位置を選択して[OK]を押す

❑ **[片面→両面]を選択したとき**

長辺とじ	長辺をとじるとき
短辺とじ	短辺をとじるとき

❑ **[両面→両面]を選択したとき**

長辺とじ→長辺とじ	ABC → ABC ┊ ABC → ABC
長辺とじ→短辺とじ	ABC → ABC GHI ┊ ABC → ABD GHI
短辺とじ→長辺とじ	ABC GHI → ABC ┊ ABD GHI → ABC
短辺とじ→短辺とじ	ABC GHI → ABC GHI ┊ ABD GHI → ABD GHI

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

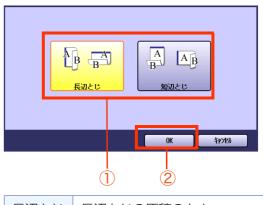
■両面原稿を片面にコピーする ［両面→片面］

両面原稿を用紙の片面にコピーします。

お知らせ
●この機能は、原稿を ADF にセットしたときに使用できます。

1. ［両面→片面］を押す

- この画面を表示する操作は、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」(p.50)の手順1～3を参照してください。
- ［原稿混載］を設定しているときは、［両面→片面］を設定できません。

2. とじ位置を選択して［OK］を押す

長辺とじ	長辺とじの原稿のとき
短辺とじ	短辺とじの原稿のとき

- このあとの操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」(p.50)の手順7～8を参照してください。

■見開きの原稿を片面に分割する ［ページ連写］

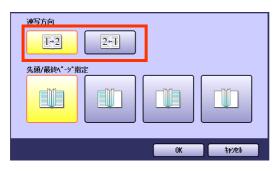
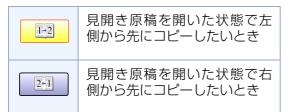
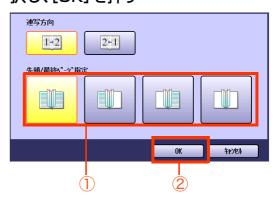
見開きの原稿を片面ずつ分割してコピーします。

お知らせ

●この機能は、原稿を横向き（ ）にセットしたときに使用できます。

1. ［ページ連写］を押す

- この画面を表示する操作は、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」（p.50）の手順1～3を参照してください。
- ［原稿混載］を設定しているときは、［ページ連写］を設定できません。

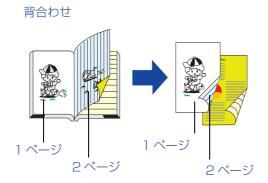
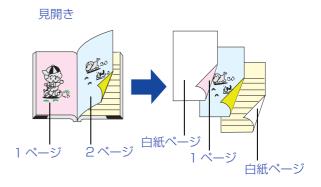
2. 「連写方向」を選択する

1→2	見開き原稿を開いた状態で左側から先にコピーしたいとき
2←1	見開き原稿を開いた状態で右側から先にコピーしたいとき

3. 「先頭/最終ページ指定」で、最初と最後のページをコピーするかしないかを選択し、［OK］を押す

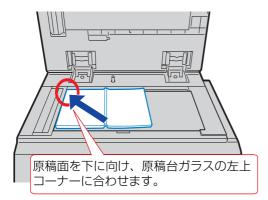
	最初と最後のページもコピーしたいとき
	最初のページをコピーして、最後のページはコピーしたくないとき
	最初のページはコピーせず、最後のページはコピーしたいとき
	最初と最後のページをコピーしないとき

- このあとの操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」（p.50）の手順7～8を参照してください。

■ブック原稿を両面にコピーする［ブック→両面］

見開きの原稿を片面ずつ分割して両面コピーします。

１ページ目と２ページ目が用紙の両面にコピーされます。

最初と最後のページに白紙ページを挿入し、原稿と同じ見開きの状態で両面コピーされます。

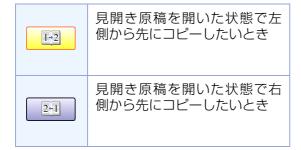
1. 原稿台ガラスに原稿をセットする

原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上コーナーに合わせます。

2. ［ブック→両面］を押す

● この画面を表示する操作は、「片面／両面原稿を両面にコピーする［片面→両面］/［両面→両面］」(p.50)の手順２～３を参照してください。

3. 背合わせで印刷するか、見開きで印刷するかを選択する

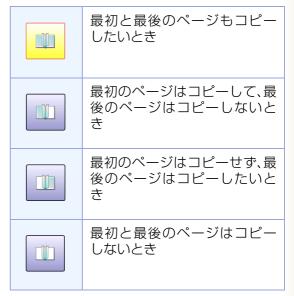
背合わせ	見開きの左右のページを両面にコピーしたいとき （とじると、見開きの状態は、原稿とは異なります）
見開き	最初と最後のページに白紙ページを挿入して両面コピーしたいとき（とじると、見開きの状態は、原稿と同じようになります）

4. 原稿の向きを選択する

P	原稿上辺を上にセットしたとき	（例）ABC 1
P	原稿上辺を左にセットしたとき	（例）ABC 1

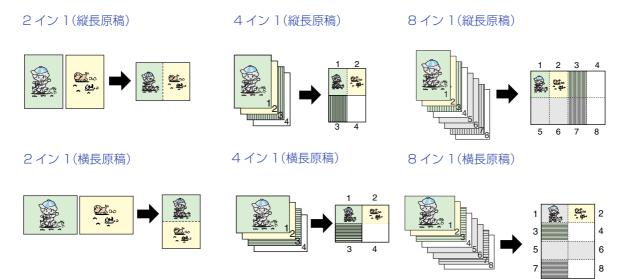
5. 「連写方向」を選択する

1→2	見開き原稿を開いた状態で左側から先にコピーしたいとき
2←1	見開き原稿を開いた状態で右側から先にコピーしたいとき

6. 「先頭/最終ページ指定」で、最初と最後のページをコピーするかしないかを選択し、［OK］を押す

	最初と最後のページもコピーしたいとき
	最初のページはコピーして、最後のページはコピーしないとき
	最初のページはコピーせず、最後のページはコピーしたいとき
	最初と最後のページはコピーしないとき

- このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」（p.50）の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■複数ページを 1 枚にまとめる [N イン 1]

複数ページの原稿を 1 枚の用紙にまとめてコピーできます。用紙の両面にまとめてコピーすることもできます。

1. [N イン 1]を押す

- この画面を表示する操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする［片面→両面］/［両面→両面］」(p.50)の手順 1 ～ 3 を参照してください。
- ［原稿混載］を設定しているときは、[Nイン 1]を設定できません。

2. 1 ページにまとめてコピーする原稿枚数を選択する

画面例：原稿を縦向き( )にセットしたとき

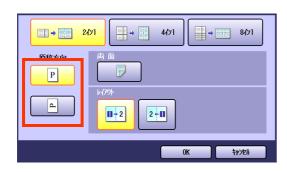
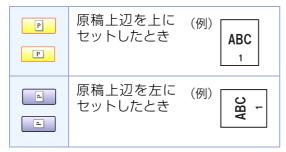
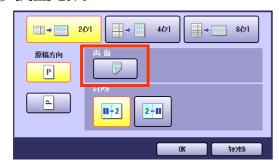
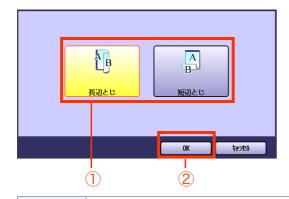
[2 イン 1]	2 ページの原稿を 1 枚にまとめたいとき
[4 イン 1]	4 ページの原稿を 1 枚にまとめたいとき
[8 イン 1]	8 ページの原稿を 1 枚にまとめたいとき

3. 原稿の向きを選択する

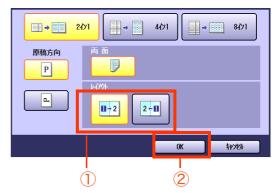
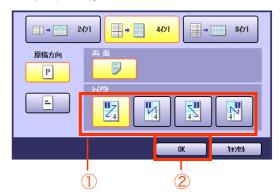
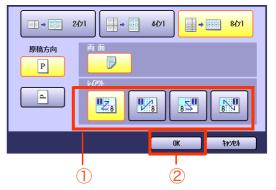
	原稿上辺を上にセットしたとき	(例) ABC 1
	原稿上辺を左にセットしたとき	(例) ABC 1

4. 両面コピーするときは、次の操作をする

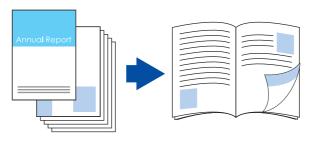
① ［両面］を押す

② とじる方向を選択して［OK］を押す

画面例：原稿を縦向き（ ）にセットしたとき

長辺とじ	長辺をとじるとき
短辺とじ	短辺をとじるとき

5. 「レイアウト」で原稿の配置順を選択し、［OK］を押す

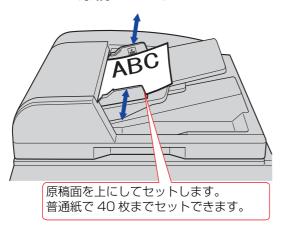
❑ **2イン1のとき**（原稿を縦向き（ ）にセットしたとき）

❑ **4イン1のとき**（原稿を縦向き（ ）にセットしたとき）

❑ **8イン1のとき**（原稿を縦向き（ ）にセットしたとき）

● このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」（p.50）の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■ブック形式で両面にコピーする［ブックレット］

複数ページの原稿を本のように両面コピーします。表紙をつけて、表紙だけ別の用紙を使ってコピーすることもできます。

お知らせ

- 両面原稿をブック形式で両面コピーすることはできません。
- この機能は、A5、B5、または A4 の原稿を ADF にセットしたときに設定できます。
- オプションの 1 ビンサドルフィニッシャー（DA-FS325）を装着しているときは、中綴じ製本ができます。ただし、A5 または B5 の用紙は使用できません。
- コピーサイズの初期値は等倍ですが、縮小に変更することができます。操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- 中とじの位置がずれ、位置を補正したときは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「2 章 共通機能設定」を参照してください。

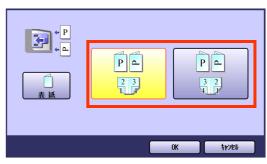
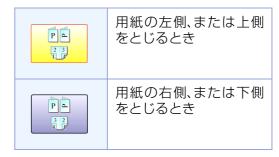
1. ADF に原稿をセットする

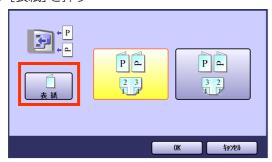
原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 40 枚までセットできます。

- 手順4で表紙を［無地］に設定したときは、普通紙で 36 枚までセットできます。

2. ［ブックレット］を押す

- この画面を表示する操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする［片面→両面］/［両面→両面］」（p.50）の手順２～３を参照してください。

3. とじ位置を選択する

	用紙の左側、または上側をとじるとき
	用紙の右側、または下側をとじるとき

4. 表紙をつけるときは、次の操作をする

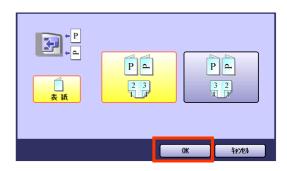
① ［表紙］を押す

② 表紙にコピーするかどうかを選択する

無地	表紙にはコピーしないとき
コピー	表紙にコピーしたいとき

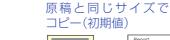
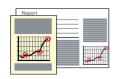
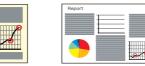
③ 表紙に使用する用紙がセットされているカセットを、［表紙］を押して選択する

- ［表紙］を押すごとに、同じサイズがセットされた用紙のカセットが切り替わります。
- 表紙以外の用紙も変更するときは、［コピー］を押して用紙のカセットを設定します。

④ ［OK］を押す

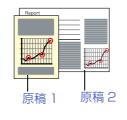
5. ［OK］を押す

- このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」（p.50）の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■サイズが異なる 2 種類の原稿を一度にコピーする [原稿混載]

サイズが異なる複数の原稿をまとめて読み取り、それぞれの原稿サイズに応じた用紙にコピーしたり、同じコピーサイズにそろえてコピーしたりできます。

同じコピーサイズに
そろえてコピー

お知らせ

●混在できる原稿サイズの組み合わせは、次のとおりです。

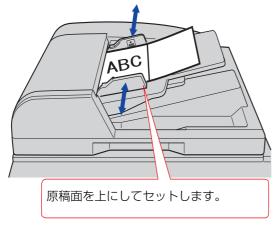
原稿 1	原稿 2
B5	B4
A5	A4
A4	A3

●コピーサイズを指定しなかったときは、それぞれの原稿サイズどおりにコピーされます。コピーサイズを指定すると、コピーサイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小してコピーされます。

●両面でコピーするときは、大きい原稿のサイズに合わせて用紙が設定されます。用紙サイズをそろえてコピーすることをお勧めします。(p.61)

●コピーサイズを指定して A4、B5、または A5 に統一するときだけ、[回転ソート]、または [回転スタック] を設定して部/ページ単位で回転して排出できます。

■ 原稿と同じサイズでコピーする

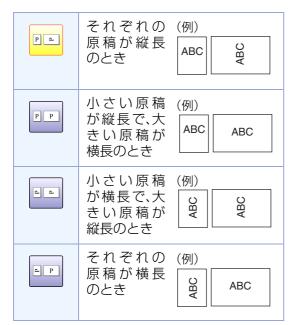
サイズが異なる原稿をまとめて読み取り、それぞれの原稿サイズに応じた用紙にコピーします。

1. サイズが異なる原稿を、幅が同じ辺をそろえて ADF にセットする

● 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. [原稿混載] を押す

● この画面を表示する操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする [片面→両面] / [両面→両面]」(p.50)の手順2～3を参照してください。

3. 「原稿方向」を選択する

	それぞれの原稿が縦長のとき	(例) ABC ABC
	小さい原稿が縦長で、大きい原稿が横長のとき	(例) ABC ABC
	小さい原稿が横長で、大きい原稿が縦長のとき	(例) ABC ABC
	それぞれの原稿が横長のとき	(例) ABC ABC

4. 両面コピーするときは、次の操作をする

① ［両面］を押す

② とじる方向を選択して［OK］を押す

長辺とじ	長辺をとじるとき
短辺とじ	短辺をとじるとき

5. ［OK］を選択する

- このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」(p.50)の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■ 用紙サイズをそろえてコピーする

サイズが異なる原稿をまとめて読み取り、指定したコピーサイズにそろえてコピーします。
コピーサイズに合わせて自動的に拡大/縮小されます。

1. 「原稿と同じサイズでコピーする」(p.60)の手順 1 ～ 5 の操作をする

2. ［基本］を押して、コピーサイズを選択する

- このあとの操作については、「片面 / 両面原稿を両面にコピーする ［片面→両面］/［両面→両面］」(p.50)の手順 7 ～ 8 を参照してください。

■ADF を使って特別な原稿をコピーする [SADF]

重ねて給紙しにくい薄い原稿(最小 50g/m^2)を ADF を使ってコピーすることができます。
また、SADF 機能の応用例として、70 枚を超える原稿を同じ設定で続けてコピーできます。(p.63)

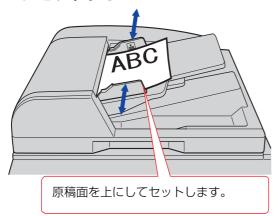
お知らせ

●この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。

■ 薄い原稿をコピーするとき

重ねて給紙しにくい薄い原稿(最小 50g/m^2)のときは、5 秒以内に 1 枚ずつ ADF にセットすると、同じ設定で続けてコピーすることができます。

1. **1 枚目の原稿(最小 50g/m^2)を ADF にセットする**

原稿面を上にしてセットします。

2. **[SADF]を押す**

● この画面を表示する操作については、「片面/両面原稿を両面にコピーする [片面→両面] / [両面→両面]」(p.50)の手順２～３を参照してください。

3. **必要に応じて、その他のコピー機能を設定する**

4. **コピー部数を入力する**

5. **<スタート>を押す**

6. **最初の原稿の読み取りが終わり、ADF のトレイに排出されたら、次の原稿を 5 秒以内にセットする**

原稿が読み取られます。

7. **最後の原稿を読み取るまで手順６を繰り返します。**

最後の原稿が読み取りが終了して、5 秒経過すると、次の画面が表示されます。

8. **[いいえ]を押す**

● 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定: 1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ SADF 機能の応用例(70 枚を超える原稿のとき)

ADF には、一度に 70 枚までしかセットできませんが、次の方法で 70 枚を超える原稿をひとつながりの原稿としてコピーできます。

お知らせ

- ひとつながりの原稿として、読み取ることができる原稿は、合計で 999 枚までです。
- 原稿(カラー写真など)によっては、999 枚以下でもメモリーオーバーエラーが表示されることがあります。そのときは、タッチパネルディスプレイの表示にしたがって操作してください。

例:100 枚の原稿を 5 部コピーする

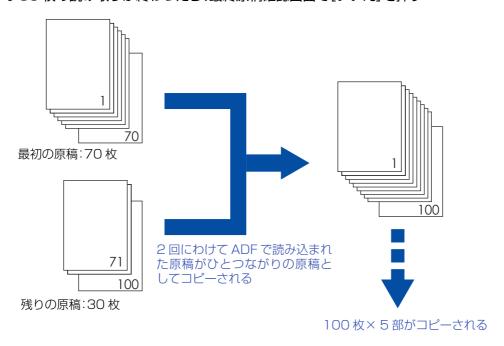
(a)最初の 70 枚を ADF にセットする

(b)[SADF]を押す

(c)[仕上げ]を選択して、ソートの設定をする(p.65)

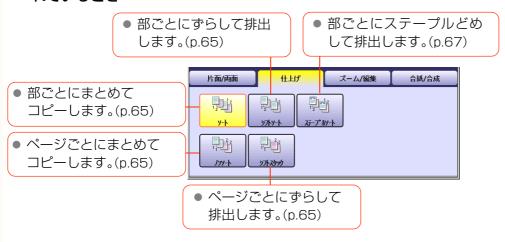
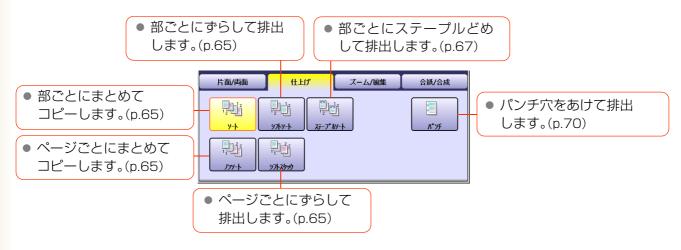
(d) 部数(5 部)をセットし、**<スタート>** を押す

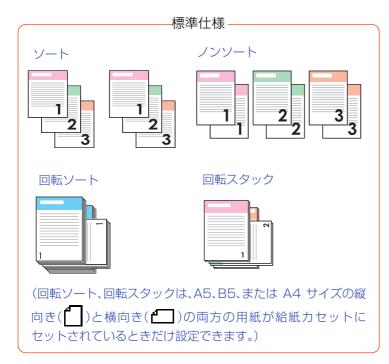
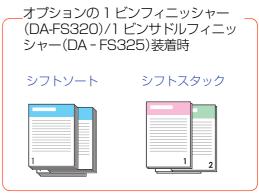
(e)70 枚の読み取りが終わったら、5 秒以内に残りの 30 枚を ADF にセットする

(f)残りの 30 枚の読み取りが終わったら、最終原稿確認画面で[いいえ]を押す

排紙のしかたを切り替えたいとき [仕上げ]

詳細設定画面の[仕上げ]タブでは、次の設定ができます。

❑ 標準仕様のとき

❑ 1ビンフィニッシャー(DA-FS320)、または1ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)が装着されているとき

❑ 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)とパンチユニット(DA-SP41)が装着されているとき(オプション)

■ソート機能を設定する　[ソート]/[ノンソート]/[回転ソート]/[回転スタック]/[シフトソート]/[シフトスタック]

部ごとにまとめたり、ページごとにまとめたりして排出できます。

(回転ソート、回転スタックは、A5、B5、または A4 サイズの縦向き( )と横向き( )の両方の用紙が給紙カセットにセットされているときだけ設定できます。)

1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定]を押す**

4. **[仕上げ]を押して、ソートの種類を選択する**

❏ 標準仕様時

ソート	部ごとにまとめたいとき
ノンソート	ページごとにまとめたいとき
回転ソート	部ごとに回転したいとき
回転スタック	ページごとに回転したいとき

- [回転ソート]と[回転スタック]は、A5、B5、または A4 サイズの縦向き( )と横向き( )の両方の用紙が給紙カセットにセットされているときだけ設定できます。

<次ページへ続く>

❑ 1 ビンフィニッシャー(DA-FS320)/1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)装着時

画面例:1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325) とパンチユニット(DA-SP41)を装着時

ソート	部ごとにまとめたいとき
ノンソート	ページごとにまとめたいとき
シフトソート	部ごとに位置をずらしたいとき
シフトスタック	ページごとに位置をずらしたいとき

5. **コピー部数を入力する**

6. **<スタート>を押す**

● 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ステープルする [ステープルソート]

オプションの１ビンフィニッシャー(DA-FS320)/1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)が装着されているときは、ステープルどめを設定できます。
また、1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)が装着されているときは、中とじを設定できます。

ステープルソート

● 1 ビンフィニッシャー(DA-FS320)装着時
・左上 1 か所 ・右上 1 か所
※ステープル可能最大枚数
A4/A5:30 枚、B4/A3:20 枚

● 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)装着時
・左側 2 か所 ・右側 2 か所 ・左上 1 か所
・右上 1 か所 ・上 2 か所
※ステープル可能最大枚数
A4/B5:50 枚、B4/A3:25 枚

中とじ

● 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)装着時([ブックレット]設定時)
※ステープル可能最大枚数
A3/B4/A4(1 ～ 10 部):
10 枚(原稿は 40 枚まで)
A3/B4/A4(11 ～ 20 部):
5 枚(原稿は 20 枚まで)

- 中とじでステープルされたコピーは、サドルトレイに排出されます。(p.69)

■ ステープルを設定する

ステープルどめを設定できます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。
- フィニッシャーの種類によって、ステープルできる原稿枚数の制限が異なります。詳しくは、『取扱説明書(基本編)』の「主な仕様」を参照してください。
ステープル可能最大枚数を超えて設定したときは、ステープルされず、シフトソートされて排出されます。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [仕上げ]を押して、[ステープルソート]を押す

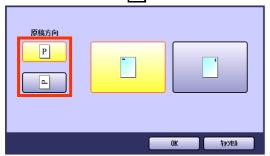
例:オプションの 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)とパンチユニット(DA-SP41)装着時

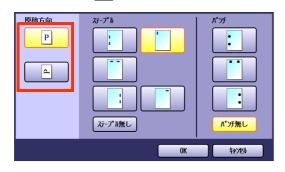
- [パンチ]は、オプションの 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)とパンチユニット(DA-SP41)を装着しているときだけ表示されます。

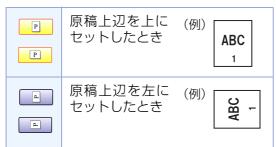
<次ページへ続く>

5. 原稿方向を選択する

❑ 1 ビンフィニッシャー(DA-FS320)装着時

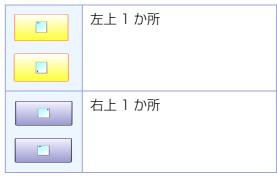
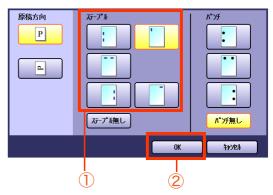
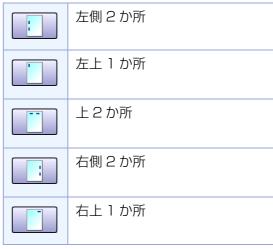
画面例:原稿を縦向き( )にセットしたとき

❑ 1 ビンサドルフィニッシャー (DA-FS325)装着時

画面例:パンチユニット(DA-SP41)装着時、原稿を縦向き( )にセットしたとき

- [パンチ]は、オプションの 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)とパンチユニット(DA-SP41)を装着しているときだけ表示されます。

P / P	原稿上辺を上にセットしたとき	(例) ABC 1
P / P	原稿上辺を左にセットしたとき	(例) ABC 1

6. ステープル位置を選択し、[OK]を押す

❑ 1 ビンフィニッシャー(DA-FS320)装着時

	左上 1 か所
	右上 1 か所

❑ 1 ビンサドルフィニッシャー (DA-FS325)装着時

	左側 2 か所
	左上 1 か所
	上 2 か所
	右側 2 か所
	右上 1 か所

- A3、B4 サイズをコピーするときは、左側 2 か所と右側 2 か所を選択できません。
- パンチユニット(DA-SP41)を装着しているときは、同時にパンチ穴をあける設定もできます。操作については、「パンチ穴をあける [パンチ]」(p.70)を参照してください。

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ 中とじを設定する

1 ビンサドルフィニッシャー（DA-FS325）を装着しているときに、［ブックレット］を設定すると、中とじを設定できます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

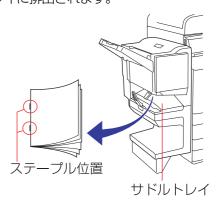
3. ［詳細設定］を押す

4. ［ブックレット］を押す

- ［ブックレット］の設定方法については、「ブック形式で両面にコピーする ［ブックレット］」（p.58）の手順 3 ～ 5 を参照してください。

5. コピー部数を入力する

6. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。
- 中とじの位置がずれ、位置を補正したときは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「2 章 共通機能設定」を参照してください。
- 中とじでステープルされたコピーは、下図のように 1 ビンサドルフィニッシャーのサドルトレイに排出されます。

■パンチ穴をあける [パンチ]

オプションの 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)とパンチユニット(DA-SP41)が装着されているときは、パンチ穴をあける設定ができます。

● 1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)とパンチユニット(DA-SP41)装着時
- ･右側 2 か所
- ･上 2 か所
- ･左側 2 か所

1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [仕上げ]を押して、[パンチ]を押す

① ②

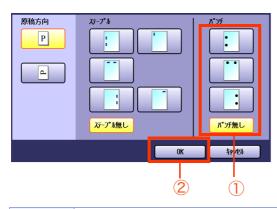
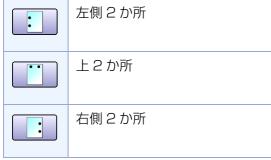
5. 原稿方向を選択する

画面例：原稿を縦向き( )にセットしたとき

● [パンチ]は、オプションの1ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)とパンチユニット(DA-SP41)を装着しているときだけ表示されます。

	原稿上辺を上にセットしたとき	(例) ABC 1
	原稿上辺を左にセットしたとき	(例) ABC 1

6. パンチ位置を選択し、[OK] を押す

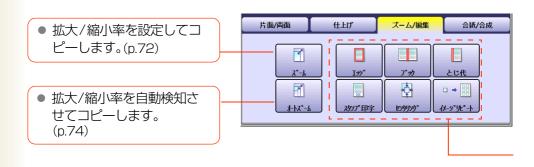
	左側 2 か所
	上 2 か所
	右側 2 か所

- この画面で、同時にステープルの設定もできます。操作については、「ステープルする [ステープルソート]」(p.67) を参照してください。
- ステープル位置を設定したあとに、パンチ位置を設定すると、ステープル位置もパンチ位置と同じ位置の 2 か所どめに変更されます。

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

任意の倍率でコピーしたいとき [ズーム / 編集]

詳細設定モードの[ズーム / 編集]タブでは、次のズームの設定ができます。

■コピー倍率を設定する [ズーム]

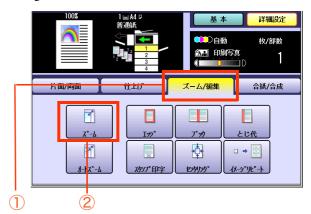
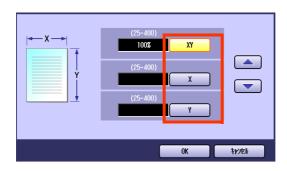
拡大 / 縮小率を設定してコピーできます。縦と横の倍率を変えて設定することもできます。

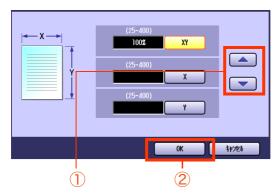
1. 原稿をセットする

● 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [ズーム/編集]を押して、[ズーム]を押す

5. 拡大/縮小率を設定する項目を選択する

XY	縦横同じ倍率で拡大 / 縮小率を設定するとき
X	横の拡大 / 縮小率を設定するとき
Y	縦の拡大 / 縮小率を設定するとき

6. [▲]、[▼]を使うか、拡大 / 縮小率を入力し、[OK]を押す

- 25～400%の範囲で、1%刻みで設定できます。
- 用紙サイズを変更するときは、[基本]を押して[給紙口/排紙口]を押し、カセットを選択してください。操作について詳しくは、「用紙/コピー排出先を切り替えたいとき［給紙口/排紙口］」(p.38)を参照してください。

7. コピー部数を入力する

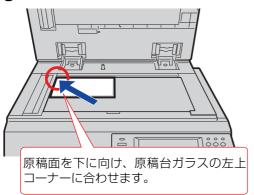
8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■用紙のサイズに合わせてコピーする [オートズーム]

設定した用紙に合わせて拡大 / 縮小率を自動検知してコピーできます。用紙の縦と横の長さに合わせてコピーしたり、用紙の縦、または横の長さに合わせてコピーしたりできます。

- この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットしたときだけ、設定できます。
- 原稿は横向き( )にセットすることをお勧めします。縦向き( )にセットすると、文字や画面が長細くコピーされたり、余白部分が大きくなったりすることがあります。
- 原稿台ガラス上が、周囲の光(蛍光灯など)の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。
- 原稿の周囲の余白が 5 ㎜以下の場合、正しく原稿が検知されず、コピー画像がみだれることがあります。そのときは、スカイショットモードを「なし」にしてください。操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

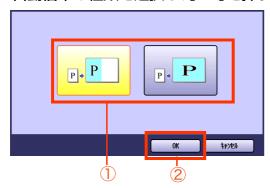
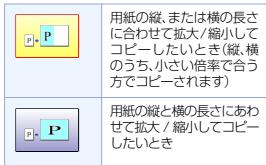
1. **原稿台ガラスに原稿を横向き( )にセットし、ADF を開けたままにする**

- ADF は 45 度以上開けてください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定] を押す**

4. **[ズーム / 編集] を押して、[オートズーム] を押す**

5. **自動倍率の種類を選択し、[OK]を押す**

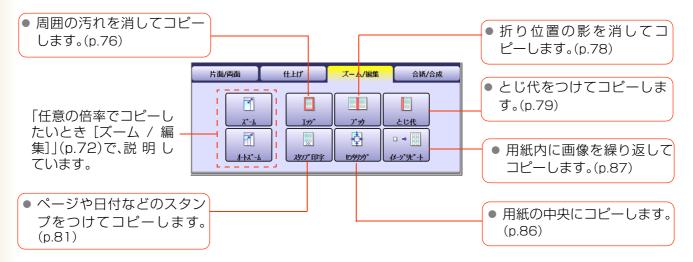
	用紙の縦、または横の長さに合わせて拡大/縮小してコピーしたいとき(縦、横のうち、小さい倍率で合う方でコピーされます)
	用紙の縦と横の長さにあわせて拡大 / 縮小してコピーしたいとき

6. **用紙を選択し、[OK]を押す**

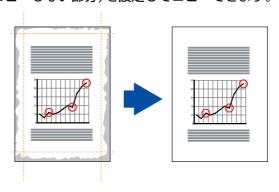
7. **コピー部数を入力する**

8. **<スタート>を押す**

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

編集機能を使用したいとき [ズーム / 編集]

詳細設定モードの[ズーム / 編集]タブでは、次の編集の設定ができます。

■周囲の汚れを消す [エッジ]

用紙の上下、左右の消し幅(コピーしない部分)を設定してコピーできます。

お知らせ

- [ズーム](p.72)を設定しているときは、ズーム率によって消し幅は変化します。
- [フォーム合成](p.97)を設定しているとき、合成原稿には、[エッジ]は適用されません。

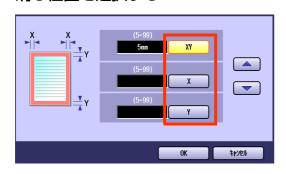
1. 原稿をセットする

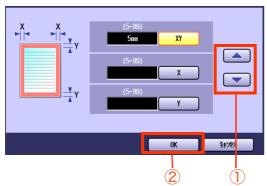
- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [ズーム/編集]を押して、[エッジ]を押す

5. 消し位置を選択する

XY	用紙の上下、左右同じ消し幅を設定したいとき
X	用紙の左右の消し幅を設定したいとき
Y	用紙の上下の消し幅を設定したいとき

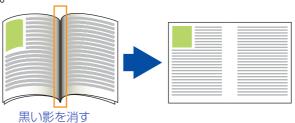
6. [▲]、[▼]を使うか、または消し幅を入力し、[OK]を押す

- 5～99 mmの範囲で、1 mm刻みで設定できます。

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■折り位置の影を消す [ブック]

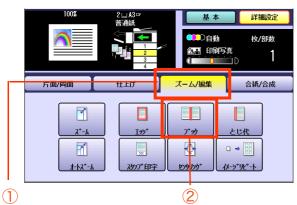
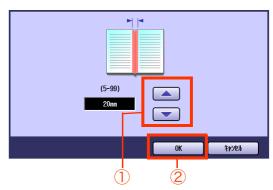
本などをコピーしたとき、中央の折り位置に黒い影ができることがあります。このようなときは、折り位置の影を消してコピーできます。

お知らせ
- [ズーム] (p.72)を設定しているときは、ズーム率によって消し幅は変化します。
- [フォーム合成] (p.97)を設定しているとき、合成原稿は、折り位置の汚れは消されません。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

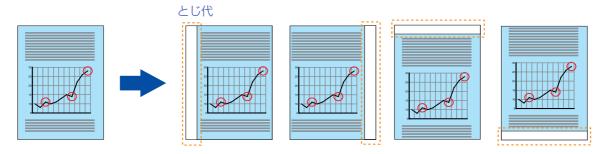
4. [ズーム/編集]を押して、[ブック]を押す

5. [▲]、[▼]を押すか、または消し幅を入力し、[OK]を押す

- 5 ～ 99 mmの範囲で、1 mm刻みで設定できます。

6. コピー部数を入力する

7. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■とじ代をつける [とじ代]

用紙の上下左右に余白(とじ代)をつけてコピーできます。

お知らせ

- 用紙の端までイメージがあるような原稿をコピーする場合やとじ代の幅を大きくした場合に、端の部分がコピーされないときは、ファンクション設定モードで、[とじ代縮小]を[あり]に設定すると、とじ代幅に合わせて、イメージが用紙内に収まるサイズに縮小され、端が欠けずにコピーされます。操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- [合成](p.94)、または[フォーム合成](p.97)を設定しているときは、合成原稿にも、とじ代が設定されます。

1. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

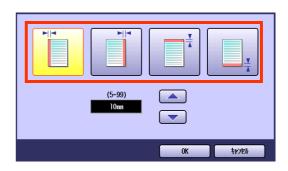
2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [ズーム/編集]を押して、[とじ代]を押す

5. とじ代をつける位置を選択する

＜次ページへ続く＞

	用紙の左側にとじ代をつけたいとき
	用紙の右側にとじ代をつけたいとき
	用紙の上側にとじ代をつけたいとき
	用紙の下側にとじ代をつけたいとき

6. [▲]、[▼]を押すか、またはとじ代幅を入力し、[OK]を押す

- 5～99 ㎜の範囲で、1 ㎜刻みで設定できます。

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

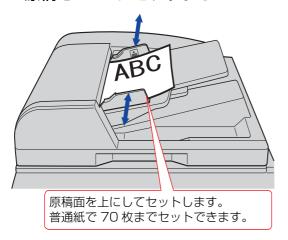
■スタンプを印字する ［スタンプ印字］

ページ番号、管理番号、日付、文字をつけてコピーできます。

お知らせ

- この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。
- 1 回の読み取りでスタンプに選択できるのは、ページ番号、管理番号、日付、文字の中から 1 つだけです。複数のスタンプを組み合わせてコピーすることはできません。
- 印字色は黒色だけです。
- 奇数枚の原稿を［片面→両面］（p.50）で両面コピーしたときに白紙となる最終ページには、スタンプは印字されません。
- ［合紙］（p.90）で、合紙にはコピーしない設定のときは、合紙にはスタンプが印字されません。
- ［OHP 合紙］（p.92）の合紙には、スタンプは印字されません。

■ スタンプ印字の基本的な操作

1. 原稿を ADF にセットする

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. ［詳細設定］を押す

4. ［ズーム / 編集］を押して［スタンプ印字］を押す

- ❑ ページ付け（p.82）
- ❑ 管理ナンバー印字（p.83）
- ❑ 日付印字（p.84）
- ❑ テキスト印字（p.85）

5. コピー部数を入力する

6. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ ページ付け

ページ番号をつけてコピーできます。

お知らせ

- 初期値は、-n-形式です。n/m形式に変更する操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章 コピー機能設定」を参照してください。
- 必ず、[ソート]を設定してください。

1. [ページ付け]を押す

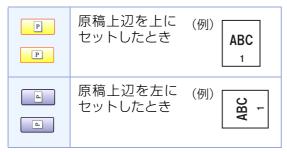
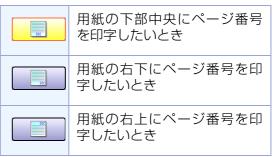
画面例：原稿を縦向き( )にセットしたとき

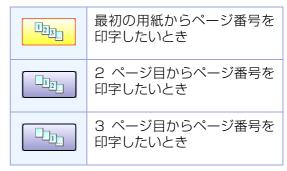
- この画面を表示する操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」(p.81)の手順 1～4 を参照してください。

2. 「原稿方向」を選択する

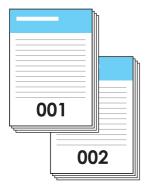
	原稿上辺を上にセットしたとき	(例) ABC 1
	原稿上辺を左にセットしたとき	(例) ABC 1

3. ページ番号を印字する位置を選択する

	用紙の下部中央にページ番号を印字したいとき
	用紙の右下にページ番号を印字したいとき
	用紙の右上にページ番号を印字したいとき

4. ページ番号を開始するページを選択し、[OK]を押す

	最初の用紙からページ番号を印字したいとき
	2 ページ目からページ番号を印字したいとき
	3 ページ目からページ番号を印字したいとき

- このあとの操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」(p.81)の手順 5～6 を参照してください。

■ 管理ナンバー印字

001 ～ 999 までの通し番号をつけてコピーできます。

お知らせ

管理番号の開始番号を 001 ～ 999 までの間で設定できます。999 の次は、001 に戻ります。

1. ［管理ナンバー印字］を押す

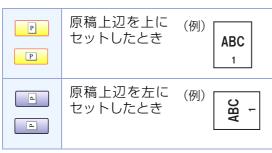
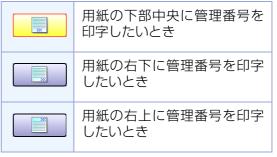
画面例：原稿を縦向き（　）にセットしたとき

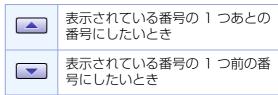
- この画面を表示する操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」（p.81）の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. 「原稿方向」を選択する

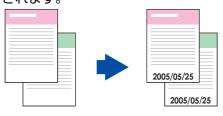
	原稿上辺を上にセットしたとき	（例）ABC 1
	原稿上辺を左にセットしたとき	（例）ABC 1

3. 管理番号を印字する位置を選択する

	用紙の下部中央に管理番号を印字したいとき
	用紙の右下に管理番号を印字したいとき
	用紙の右上に管理番号を印字したいとき

4. ［▲］、［▼］を使うか、または管理番号の印刷開始ナンバーを入力し、［OK］を押す

▲	表示されている番号の 1 つあとの番号にしたいとき
▼	表示されている番号の 1 つ前の番号にしたいとき

- 001 ～ 999 の範囲で、1 刻みに設定できます。
- このあとの操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」（p.81）の手順 5 ～ 6 を参照してください。

■ 日付印字

日付をつけてコピーできます。年 / 月 / 日形式で印字されます。

1. [日付印字]を押す

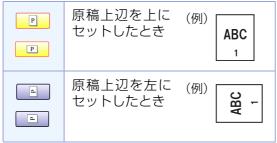
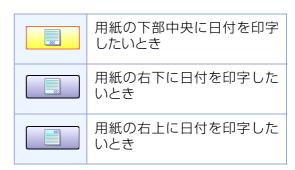
画面例:原稿を縦向き( )にセットしたとき

- この画面を表示する操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」(p.81)の手順 1 〜 4 を参照してください。

2. 「原稿方向」を選択する

	原稿上辺を上にセットしたとき	(例) ABC 1
	原稿上辺を左にセットしたとき	(例) ABC 1

3. 日付を印字する位置を選択する

	用紙の下部中央に日付を印字したいとき
	用紙の右下に日付を印字したいとき
	用紙の右上に日付を印字したいとき

4. 日付を変更するときは次の操作をする

① [変更]を押す

カーソルが表示されます。

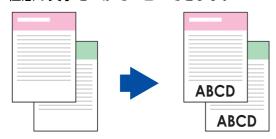
② 、 を押して、変更したいところまでカーソルを移動させる

③ 日付を修正する

5. [OK]を押す

- このあとの操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」(p.81)の手順 5 〜 6 を参照してください。

■ テキスト印字

任意の文字をつけてコピーできます。

お知らせ

- 印字できる文字は、16 文字以内です。
- フォントサイズは、2.1 mm× 3.1 mmです。

1. ［テキスト印字］を押す

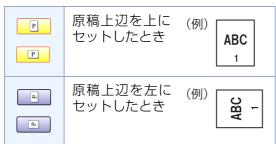
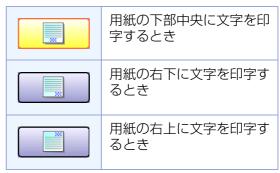
画面例：原稿を縦向き（ ）にセットしたとき

- この画面を表示する操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」（p.81）の手順 1 ～ 4 を参照してください。

2. 「原稿方向」を選択する

	原稿上辺を上にセットしたとき	（例） ABC 1
	原稿上辺を左にセットしたとき	（例） ABC 1

3. 文字を印字する位置を選択する

	用紙の下部中央に文字を印字するとき
	用紙の右下に文字を印字するとき
	用紙の右上に文字を印字するとき

4. ［変更］を押す

5. 文字を入力し、［OK］を押す

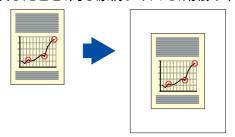
- 全角 16 文字まで入力できます。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは『取扱説明書（基本編）』の「文字入力のしかた」を参照してください。

4 の画面に戻ります。

6. ［OK］を押す

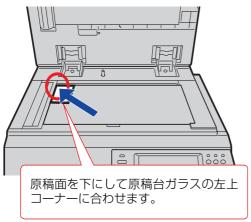
- このあとの操作については、「スタンプ印字の基本的な操作」（p.81）の手順 5 ～ 6 を参照してください。

■用紙の中央にコピーする [センタリング]

原稿サイズより大きい用紙を選択したとき、同じ原稿サイズで、用紙の中央にコピーできます。

お知らせ

- この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットしたときだけ、設定できます。
- 原稿台ガラス面が、周囲の光(蛍光灯など)の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。

1. 原稿台ガラスに原稿をセットし、ADFを開けたままにする

原稿面を下にして原稿台ガラスの左上コーナーに合わせます。

- ADF は 45 度以上開けてください。
- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定]を押す

4. [ズーム / 編集]を押して[センタリング]を押す

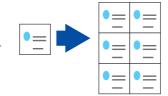
5. 用紙を選択し、[OK]を押す

6. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■画像を繰り返しコピーする [イメージリピート]

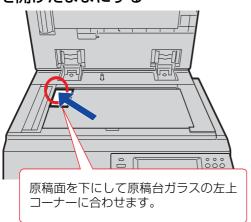
原稿の画像を１枚の用紙に繰り返してコピーできます。繰り返される画像の数は、用紙サイズに応じて自動的に設定されます。

原稿最小サイズ
20 mm x 20 mm.

お知らせ

●コピー画像間のミシン目を印刷しないときは、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。

●この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットしたときだけ、設定できます。

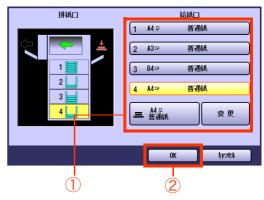
●原稿台ガラス面が、周囲の光（蛍光灯など）の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。

1. 原稿台ガラスに原稿をセットし、ADF を開けたままにする

- ADF は 45 度以上開けてください。
- 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. [ズーム / 編集] を押して、[イメージリピート] を押す

5. 用紙を選択し [OK] を押す .

6. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：１分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

コピーに合紙や表紙をつけたいとき [合紙 / 合成]

詳細設定画面の[合紙 / 合成]タブでは、無地の表紙をつけたり、指定したページ(表示も含む)を別の給紙カセット(手差しトレイも含む)にセットされた色紙などにコピーしたりすることができます。

● 表紙に別の用紙を設定してコピーします。(p.88)

● 指定したページに別の用紙を挿入してコピーします。(p.90)

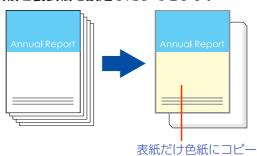
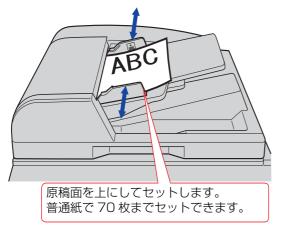
● OHP フィルムの間に白紙をはさんでコピーします。(p.92)

「特定の原稿を他の原稿に合成してコピーしたいとき [合紙 / 合成]」(p.94)で、説明しています。

お知らせ

●この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。

■表紙をつける [表紙]

表紙に別の用紙を設定してコピーできます。
また、表紙だけ設定したり、表紙と裏表紙を設定したりできます。

表紙だけ色紙にコピー

1. 原稿を ADF にセットする

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

● 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. [詳細設定] を押す

4. ［合紙 / 合成］を押して、［表紙］を押す

5. 表紙にコピーするかしないかを選択する

表紙（表） - 無地	表紙だけつけ、表紙にはコピーしないとき
表紙（表） - コピー	表紙だけつけ、表紙にもコピーしたいとき
表紙（表＋裏） - 無地	表紙と裏表紙をつけ、表紙と裏表紙にはコピーしないとき
表紙（表＋裏） - コピー	表紙と裏表紙をつけ、表紙と裏表紙にもコピーしたいとき

6. 表紙に使用する用紙の給紙カセット / 手差しトレイが表示されるまで、［表紙］を押す

- ［表紙］を押すごとに用紙の給紙口が切り替わります。
- 表紙以外の用紙も変更するときは、［コピー］を押して用紙の給紙口を設定します。

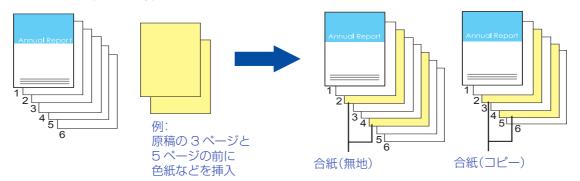
7. ［OK］を押す

8. コピー部数を入力する

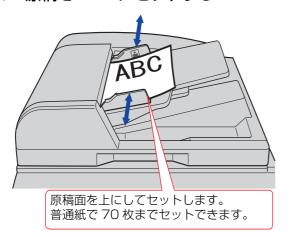
9. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■合紙を挿入する ［合紙］

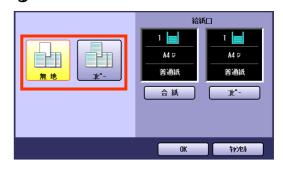
指定したページ（表紙も含む）を別の給紙カセット（手差しトレイも含む）にセットされた色紙などにコピーしたり、無地の色紙などを挿入してコピーしたりできます。

お知らせ

●この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。

1. 原稿を ADF にセットする

2. 他のモードが表示されているときは、＜コピー＞を押す

3. ［詳細設定］を押す

4. ［合紙 / 合成］を押して、［合紙］を押す

5. 合紙にコピーするかしないかを選択する

無地	合紙にコピーしないとき
コピー	合紙にもコピーしたいとき

6. 合紙の用紙を変更するときは、使用する用紙の給紙カセット / 手差しトレイが表示されるまで[合紙]を押す

- ［合紙］を押すごとに用紙の給紙口が切り替わります。
- 合紙以外の用紙も変更するときは、[コピー]を押して用紙の給紙口を設定します。

7. [OK]を押す

8. 合紙を挿入するページ番号を入力する

9. ▶ を押して、次の挿入ページ番号を入力する

- ◀ 、▶ を押すと、挿入ページを入力する場所を移動できます。
- 20 か所まで入力できます。

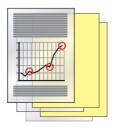
10. [OK]を押す

11. コピー部数を入力する

12. <スタート>を押す

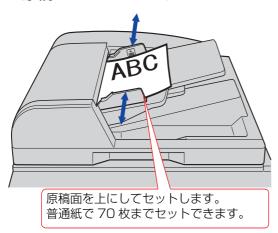
- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■OHP 用紙に合紙を挿入する [OHP 合紙]

OHP フィルムの間に白紙をはさんでコピーできます

お知らせ

●この機能は、ADF に原稿をセットしたときに設定できます。

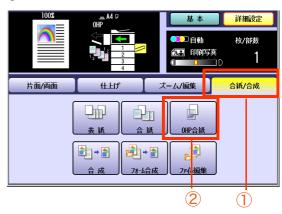
1. 原稿を ADF にセットする

原稿面を上にしてセットします。
普通紙で 70 枚までセットできます。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. OHP フィルムを手差しトレイにセットする

- 手差しトレイへの OHP フィルムのセットのしかたについては、『取扱説明書(基本編)』の「用紙の補給」を参照してください。

4. [詳細設定] を押す

5. [合紙 / 合成] を押して、[OHP 合紙] を押す

6. OHP フィルムにはさむ用紙を変更するときは、使用する用紙の給紙カセット / 手差しトレイが表示されるまで [合紙] を押す

- [合紙] を押すごとに用紙の給紙口が切り替わります。

7. ［OK］を押す

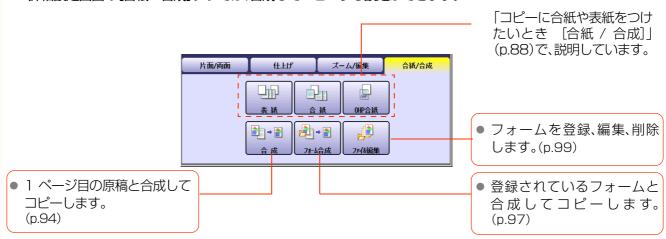
8. コピー部数を入力する

9. <スタート>を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

特定の原稿を他の原稿に合成してコピーしたいとき

[合紙 / 合成]

詳細設定画面の[合紙 / 合成]タブでは、合成してコピーする設定ができます。

■ 1 ページ目の原稿と合成する [合成]

1 ページ目の原稿と合成してコピーできます。
1 ページ目の原稿を合成用原稿、2 ページ目以降の原稿を読み取り原稿と呼びます。

お知らせ

- 合成してコピーされるサイズは、A4 サイズだけです。
- カラーモードの[自動]は設定できません。
- 合成用原稿に、[エッジ]、[ブック]、[とじ代]の設定は適用されます。
- [表紙]、[合紙]のどちらかが設定されている場合、表紙や合紙にコピーしない設定のときは、表紙や合紙には合成コピーされません。
- ハードディスクが装着されていないときは、次のようになります。
  ・登録されるフォームは、1 件だけです。
  ・新しいフォームを登録すると、前のフォームに自動で上書きされます。
  ・電源をオフにすると、登録した合成フォームが消去されます。

1. **原稿をセットする**

- 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

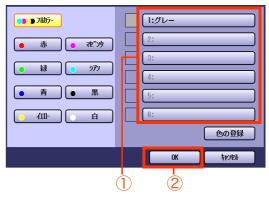
2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **［詳細設定］を押す**

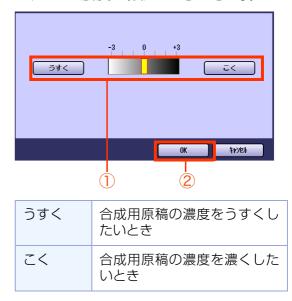
4. **［合紙 / 合成］を押し、［合成］を押す**

5. **基本色、または登録色から合成用原稿の色を選択し、［OK］を押す**

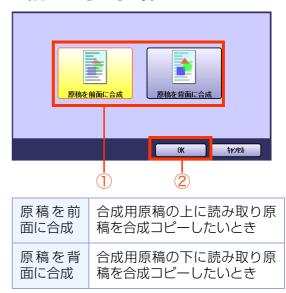
❑ **基本色から選択するとき**

❑ **登録色から選択するとき**

- 色を登録する操作については、「お好み色を登録する［色の登録］」（p.22）を参照してください。

6. **［うすく］、［こく］を押して合成用原稿の透かし濃度を設定し、［OK］を押す**

うすく	合成用原稿の濃度をうすくしたいとき
こく	合成用原稿の濃度を濃くしたいとき

7. **合成用原稿と読み取り原稿の上下関係を設定し、［OK］を押す**

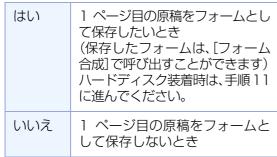
原稿を前面に合成	合成用原稿の上に読み取り原稿を合成コピーしたいとき
原稿を背面に合成	合成用原稿の下に読み取り原稿を合成コピーしたいとき

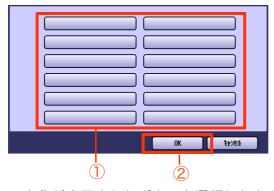
<次ページへ続く>

8. コピー部数を入力する

9. <スタート>を押す

コピーが終了したら、合成したファイルを保存するかどうか確認するメッセージが表示されます。

10. [はい]、または[いいえ]を選択する

はい	1 ページ目の原稿をフォームとして保存したいとき (保存したフォームは、[フォーム合成]で呼び出すことができます) ハードディスク装着時は、手順 11 に進んでください。
いいえ	1 ページ目の原稿をフォームとして保存しないとき

- ハードディスクが装着されていないときは、この操作で、フォームの登録が終了します。

11. ハードディスク装着時だけ、何も表示されていないボタンを選択し、[OK]を押す

- 名称が表示されたボタンを選択したときは、新しく読み取ったフォームデータが選択したボタンに上書き保存されます。
- この画面は、ハードディスクが装着されているときだけ、表示されます。

12. ボタン名を入力し、[OK]を押す

- 全角 10 文字まで入力できます。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。

■フォームと合成する [フォーム合成]

登録されているフォームと合成してコピーできます。

お知らせ

- フォームとして保存されるサイズは、A4 だけです。
- カラーモードの[自動]は設定できません。
- フォームと原稿で、原稿の向きが異なるときは、合成時に回転してコピーされます。
- 原稿サイズの設定による拡大 / 縮小を設定すると、読み取り原稿は設定に応じて拡大 / 縮小されますが、フォームは、拡大 / 縮小されません。
- フォームに、[エッジ]と[ブック]の設定は適用されません。
- [とじ代]の設定は、フォームにも適用されます。
- [表紙]、[合紙]のどちらかが設定されている場合、表紙や合紙にコピーしない設定のときは、表紙や合紙には合成コピーされません。
- ハードディスクが装着されていないときは、電源をオフにすると、合成フォームが消去されます。

1. **原稿をセットする**

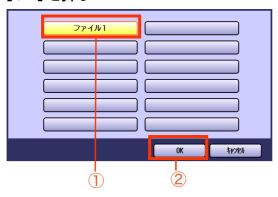
- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[詳細設定]を押す**

4. **[合紙 / 合成]を押して[フォーム合成]を押す**

<次ページへ続く>

5. 登録されているフォームを選択し [OK] を押す

- フォームを登録する操作について詳しくは、「フォームの登録」(p.99) を参照してください。
- ハードディスクが装着されていないときは、この画面は表示されません。手順 6 に進んでください。

6. フォームと読み取り原稿の重なりの順序を設定し、[OK] を押す

原稿を前面に合成	フォームの上に読み取り原稿を合成コピーしたいとき
原稿を背面に合成	フォームの下に読み取り原稿を合成コピーしたいとき

7. コピー部数を入力する

8. <スタート>を押す

■フォームを登録する [ファイル編集]

合成用のフォームの登録、フォーム名の編集、フォームの削除ができます。

お知らせ

- 登録したフォームと合成する操作については、「フォームと合成する［フォーム合成］」(p.97)を参照してください。
- ハードディスクが装着されていないときは、[ファイル編集]でフォームを新規登録することはできませんが、[合成]で登録したフォームを削除することはできます。ただし、[合成]でフォームを登録したあとに、電源をオフにしたときは、フォームは自動的に削除されます。

■ フォームの登録

お知らせ

- 12 件までフォームタイトルをつけてフォームを登録できます。
- フォームに登録できるサイズは、A4 だけです。
- 登録後にフォームの透かし濃度、指定色を変更することはできません。
- カラーモードの[自動]を設定することはできません。

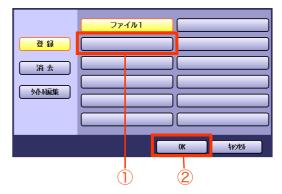
1. **合成用のフォームをセットする**

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。
- セットする向きによって原稿方向が決定されます。

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

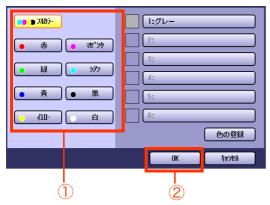
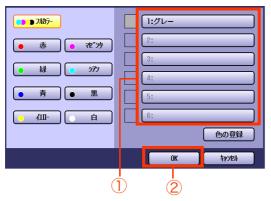
3. **[詳細設定]を押す**

4. **[合紙 / 合成]を押して[ファイル編集]を押す**

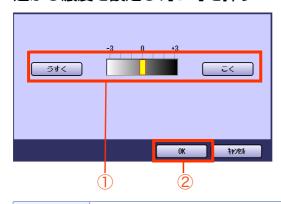
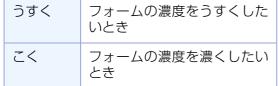
5. **フォーム名が登録されていないボタンを押して、[OK]を押す**

- ハードディスクを装着していないときは、上記画面は表示されず、消去確認画面が表示されます。以降の手順は、必要ありません。

<次ページへ続く>

6. 基本色、または登録色からフォームの指定色を選択し、[OK] を押す

❑ 基本色から選択するとき

❑ 登録色から選択するとき

● 色を登録する操作については、「お好み色を登録する［色の登録］」(p.22) を参照してください。

7. [うすく]、[こく] を押してフォームの透かし濃度を設定し、[OK] を押す

うすく	フォームの濃度をうすくしたいとき
こく	フォームの濃度を濃くしたいとき

8. 次の画面が表示されたら<**スタート**>を押す

9. [はい] を押す

10. フォーム名を入力し、[OK]を押す

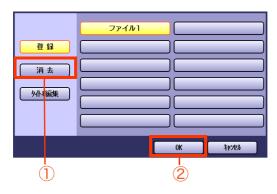
- 全角 10 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。
- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、フォームの登録が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ フォームの削除

フォームを削除することができます。

1. 削除するフォーム名を選択する

- この画面を表示する操作については、「フォームの登録」(p.99)の手順 2 ～ 4 を参照してください。

2. [消去]を選択し[OK]を押す

3. [はい]を押す

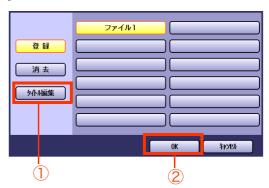
- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、フォームの削除が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

■ フォーム名の編集

フォーム名を編集することができます。

1. 名称を変更するフォーム名を選択する

- この画面を表示する操作については、「フォームの登録」(p.99)の手順 2 ～ 4 を参照してください。

2. [タイトル編集]を選択して[OK]を押す

3. フォーム名を変更し[OK]を押す

- 全角 10 文字以内で入力してください。
- キーボードの使いかたについて、詳しくは『取扱説明書(基本編)』の「文字入力のしかた」を参照してください。
- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、フォーム名の編集が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

4章
その他のコピー

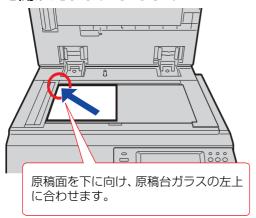
この章では、その他のコピー操作について説明しています。

ADF を開けたままコピーしたいとき [スカイショット]

スカイショットとは、ADF を開けたままコピーしてもコピーの周囲が黒くならない機能です。
お買い上げ時は、スカイショットが使用できるように設定されています。

お知らせ

- ●原稿の周囲に余白(5mm 以下)がないときは、コピーの端に白いコピーむらが出ることがありますので、スカイショットモードをオフにしてコピーされることをお勧めします。
- ●スカイショットの切り替えは、ファンクション設定で行います。操作については、『取扱説明書(ファンクション設定編)』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- ●この機能は、原稿台ガラスに原稿をセットしたときだけ、設定できます。
- ●原稿台ガラス面が、周囲の光(蛍光灯など)の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。

1. 原稿台ガラスに原稿をセットし、ADF を開けたままにしておく

- ADF は 45 度以上開けてください。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて、読み取りの設定をする

4. コピー部数を入力する

5. <スタート>を押す

- [ソート]を設定しているときは、読み取りが終了すると、セットした原稿が最終原稿かどうか確認する画面が表示されます。画面のメッセージにしたがって進めてください。
- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定：1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

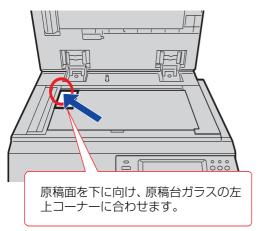
設定された範囲だけコピーしたいとき [伝票モード]

伝票モードとは、ジョブメモリーのM1、またはM2にあらかじめ設定されているサイズで原稿を読み取る機能です。ADFを開けたままコピーしても、指定したサイズの外側のコピーが黒くなりません。

お知らせ

- ●お買い上げ時は、伝票モードが設定されていません。お使いになる前に、ファンクション設定で伝票モードに設定してください。また、M1、M2の初期値は変更できます。伝票モードの設定、および M1、M2 の初期値を変更する操作については、『取扱説明書（ファンクション設定編）』の「3 章　コピー機能設定」を参照してください。
- ●原稿の端に黒い線があるときは、黒い部分を正しくコピーできないことがあります。
- ●伝票モードが設定されている場合、[ソート]、[パンチ]、[シフトソート]、[シフトスタック]、[回転ソート]、[回転スタック]、[ステープルソート]は使用できません。

1. 原稿台ガラスに原稿をセットする

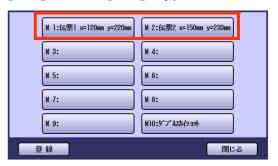
原稿面を下に向け、原稿台ガラスの左上コーナーに合わせます。

2. 他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す

3. 必要に応じて、読み取りの設定をする

4. [ジョブメモリー]を押す

5. [M1]、または[M2]を押す

M1	120 ㎜× 220 ㎜（初期値）
M2	150 ㎜× 230 ㎜（初期値）

＜次ページへ続く＞

6. ［閉じる］を押すか、または数秒待つ

7. コピー部数を入力する

8. **<スタート>**を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後（お買い上げ時の設定：1 分後）に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

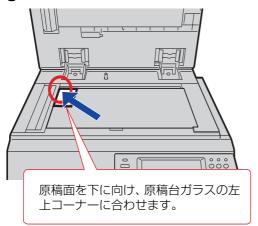
両面原稿を片面 1 枚にまとめてコピーしたいとき

[ダブルスカイショット]

ダブルスカイショットとは、A5 サイズ以下の両面原稿を片面ずつ読み取り、片面 1 枚に並べてコピーする機能です。ADF を開けたままコピーしても、コピーの周囲が黒く汚れません。
お買い上げ時は、ダブルスカイショットが使用できるように設定されています

お知らせ

- ADF を開けた状態と閉じた状態のどちらでもコピーできます。
- 原稿台ガラス上が、周囲の光の影響を受けると、原稿位置を誤って検知することがあります。
- 下記のような原稿のときは、原稿が正しく検知されず、コピー画像がみだれることがありますので、ADFを閉じてコピーすることをお勧めします。
  ･白色に近い、色がうすい原稿で、原稿の右、または下 5 ㎜以内に黒い線がある場合
  ･黒色に近い、色が濃い原稿で、原稿の右、または下 5 ㎜以内に白い線がある場合

1. **原稿台ガラスに原稿の表面をセットする**

2. **他のモードが表示されているときは、<コピー>を押す**

3. **[ジョブメモリー]を押す**

4. **[ダブルスカイショット]を押す**

- ダブルスカイショットの準備が完了したことを確認する画面が表示された場合は、[閉じる]を押します。
- ダブルスカイショットモードを設定したときの仕分けの初期値は、ノンソートです。
  ソートを設定するときは、ダブルスカイショットを設定したあとに設定してください。操作については、「ソート機能を設定する [ソート]/[ノンソート]/[回転ソート]/[回転スタック]/[シフトソート]/[シフトスタック]」(p.65)を参照してください。

5. **コピー部数を入力する**

6. **<スタート>を押す**

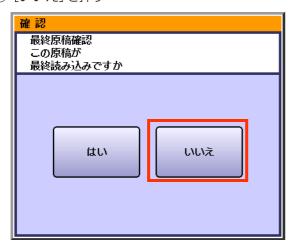
- 仕上げの設定(ソート/ノンソート)によって、手順が異なります。
  ･ノンソートの場合:最初の原稿が読み取られたあとに、まだ読み込む原稿があるかどうかを確認する画面が表示されます。手順7に進んでください。
  ･ソートの場合:最初の原稿が読み取られる前に、最終原稿かどうか確認する画面が表示されます。手順 8 に進んでください。

7. ノンソートのときは次の手順を行う

① 「はい」を押す

② 原稿の裏面をセットし、**<スタート>**を押す
裏面が読み取られます。

8. ソートのときは次の手順を行う

① [いいえ]を押す

最初の原稿の読み取りが開始され、終了すると、「原稿を交換できます」というメッセージが表示されます。

② [閉じる]を押す

③ 原稿台ガラスに原稿の裏面をセットする

④ **<スタート>**を押す
①の画面が表示されます。

⑤ 次に読み込む原稿がある場合は、手順①〜④を繰り返す
最後の原稿の場合は[はい]を押す

- 設定したコピー機能は、一定時間後(お買い上げ時の設定:1 分後)に自動的にリセットされます。続けて次に利用される方のために、コピーの排出が終わったら、**<リセット>**を押して、設定を解除することをお勧めします。

コピー印刷中に次のコピーを予約したいとき

[コピー予約]

コピー印刷中に次のコピー原稿を読み取らせることができます。

お知らせ

- この機能は、ハードディスクが装着されているときに使用できます。
- 予約したコピーは、予約後に給紙口の変更（給紙カセットから手差しトレイへの変更）、または手差しトレイの用紙サイズや用紙種別の変更をすることができません。
- 予約できるコピージョブ数は、最大 12 です。

1. コピー印刷中に、次の原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書（基本編）』の「原稿セットのしかた（コピー、スキャナー/Eメールのとき）」を参照してください。

2. [コピー予約]を押す

- 手順 1 で ADF に原稿をセットしたときは、自動的に手順 3 の画面に切り替わるので、[コピー予約]を押す必要はありません。

3. 必要に応じて、読み取りの設定をする

4. コピー部数を入力する

5. <スタート>を押す

コピーの印刷が中止されることなく、セットした原稿がハードディスクへ読み取られます。コピーの印刷が終了したら、ハードディスクへ読み取られたコピーの印刷が開始されます。

コピー/プリント中に急ぎのコピーを割り込ませたいとき

[割り込み]

コピー/プリントの排出の途中で、割り込んでコピーできます。割り込んだコピーが終了したあとは、元のコピー/プリントを続けることができます。

お知らせ

- 原稿読み取り中に**<割り込み>**を押すことはできますが、割り込むコピーは、原稿が読み取られ、一部目の印刷が終了するまで開始されません。
- **<割り込み>**を押しても印刷(コピー/プリント)の状況により、すぐに停止して割り込み操作をすることができない場合があります。そのときは、しばらくお待ちください。
- 割り込みコピーをするときは、現在コピー中の方の了承を得たうえで、行ってください。

1. コピー/プリントの途中で、<割り込み>を押す

2. 原稿をセットする

- 原稿のセットについては、『取扱説明書(基本編)』の「原稿セットのしかた(コピー、スキャナー/Eメールのとき)」を参照してください。

3. 必要に応じて読み取りの設定をする

4. コピー部数を入力する

5. <スタート>を押す

6. 手順２～５を繰り返し、割り込みコピーをする

7. 割り込みコピーが終わったら、<割り込み>を押す

プリント中に割り込みコピーしたときは、プリントが再開します。

8. コピー中に割り込みコピーしたときのみ、<スタート>を押す

元のコピーが再開します。

5章
必要なとき

この章では、コピー動作組み合わせ一覧について説明しています。

コピー動作組み合わせ一覧

最初の機能設定＼あとの機能設定	片面→両面	両面→片面	両面→両面	ページ連写	ブック→両面	Nイン1	ブックレット	原稿混載	SADF	ソート	ノンソート	シフトソート	シフトスタック	回転ソート	回転スタック	ステープルソート	パンチ	ズーム	オートズーム
片面→両面	/	A	A	A	A	A	A	x											
両面→片面	A	/	A	A	A	A	A	x											x
両面→両面	A	A	/	A	A	A	A	x											x
ページ連写	A	A	A	/	A	A	A	x											x
ブック→両面	A	A	A	A	/	A	A	x											x
N イン 1	A	A	A	A	A	/	A	x											x
ブックレット	A	A	A	A	A	A	/	x		x	x	x	x	x	x	x	x		x
原稿混載	x	x	x	x	x	x	x	/	x					*1	*1				x
SADF								x	/										x
ソート							A			/	A	A	A	A	A	A			
ノンソート							A			A	/	A	A	A	A	A			
シフトソート *1							A			A	A	/	A	A	A	A			
シフトスタック *1							A			A	A	A	/	A	A	A			
回転ソート							A	*1		A	A	A	A	/	A	/	x		A
回転スタック							A	*1		A	A	A	A	A	/	/	x		x
ステープルソート *1							*2			A	A	A	A	/	/	/			
パンチ *1							A							x	x		/		
ズーム																		/	A
オートズーム		x	x	A	A	A	x	A	x					x	x			A	/
エッジ																			x
ブック						x	x												x
とじ代							x												x
スタンプ印字				x	x		x				*3		*3		*3				x
センタリング		x	x	A	A	A	x	A	x					x	x				
イメージリピート	A	x	x	A	A	A	x	A	x					x	x				x
表紙				x	x	x	x	x	x		x		x	x	x				x
合紙				x	x	x	x	x	x		x		x	x	x				x
OHP 合紙	x		x	x	x	x	x	x	x	x		x	x	x	x	x	x		x
合成				x	x	x	x	x										x	x
フォーム合成				x	x	x	x	x										x	x
スカイショット		x	x				x	x	x						x				
伝票モード	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x		x
終了通知																			
割り込み																			
試しコピー																			
ダブルスカイショット	x	x	x	x	x	x	x	x	x						x				x

空白 :組み合わせて設定できます。
x:　組み合わせて設定できません。
A:　あとから設定した機能が優先されます。
/:　組み合わせが存在しません。

*1:　用紙サイズを統一するときだけ設定できます。
*2:　ブックレットコピー時は、半分に折ったときに本のように加工するため、中とじになります。
*3:　スタンプ印字機能の管理番号を選択したときは、ノンソート / シフトスタック / 回転スタックを選択しても、ソート機能に自動で切り替わります。

最初の機能設定＼あとの機能設定	エッジ	ブック	とじ代	スタンプ印字	センタリング	イメージリピート	表紙	合紙	OHP合紙	合成	フォーム合成	スカイショット	伝票モード	終了通知	割り込み	試しコピー	ダブルスカイショット
片面→両面						x			A				A		A		A
両面→片面					x	x						x	A		A		A
両面→両面					x	x			A			x	A		A		A
ページ連写				x	x	x	A	A	A	x	x		A		A		A
ブック→両面				x	x	x	A	A	A	x	x		A		A		A
N イン 1		x			x	x	A	A	A	x	x		A		A		A
ブックレット		x	x	x	x	x	A	A	A	x	x	x	A		A		A
原稿混載					x	x	A	A	A	x	x	x	A		A		A
SADF					x	x	A	A	A			x	A		A		A
ソート									A				A		A		A
ノンソート				*3			A	A					A		A		A
シフトソート *1									A				A		A		A
シフトスタック *1				*3			A	A	A				A		A		A
回転ソート					A	A	A	A	A				A		A		A
回転スタック				*3	x	x	A	A	A			x	A		A		A
ステープルソート *1									A				A		A		A
パンチ *1									A				A		A		A
ズーム										A	A		A		A		A
オートズーム	x	x	x	x		x	x	x	x	A	A		A		A		A
エッジ	/				x	A							A		A		A
ブック		/			x	A							A		A		A
とじ代			/		x	A							A		A		A
スタンプ印字				/	x	x						x	A		A		A
センタリング	x	x	x	x	/	A	x	x	x	A	A		A		A		A
イメージリピート	x	x	x	x	A	/	x	x	x	A	A		A		A		A
表紙					x	x	/		A			x	A		A		A
合紙					x	x		/	A			x	A		A		A
OHP 合紙					x	x	A	A	/			x	A		A		A
合成					x	x				/	A		A		x		A
フォーム合成 *2					x	x				A	/		A		x		A
スカイショット				x			x	x	x			/	A				A
伝票モード					x	x	x	x	x	x	x	x	/		A		A
終了通知														/			
割り込み													x		/		x
試しコピー															A	/	
ダブルスカイショット		x			x	x	x	x	x	x	x		A		A		/

空白：組み合わせて設定できます。
x:　組み合わせて設定できません。
A:　あとから設定した機能が優先されます。
/:　組み合わせが存在しません。

*1: オプションのフィニッシャーが装着されているときに設定できます。

	1 ビンフィニッシャー(DA-FS320)	1 ビンサドルフィニッシャー(DA-FS325)
シフトソート	設定できます。	設定できます。
シフトスタック	設定できます。	設定できます。
回転ソート	設定できません。	設定できません。
回転スタック	設定できません。	設定できません。
ステープルソート	左上、または、右上 1 か所に設定できます。	次の 5 か所に設定できます。 ･左上 1 か所　･右上 1 か所　･上部 2 か所 ･左側 2 か所　･右側 2 か所
パンチ	設定できません。	パンチユニット(DA-SP41)装着時に、設定できます。

*2: [フォーム合成]では、ハードディスクが装着されていないときは、電源をOFFにすると、登録された合成用原稿は削除されます。
*3: スタンプ印字機能の管理番号を選択したときは、ノンソート / シフトスタック / 回転スタックを選択しても、ソート機能に自動で切り替わります。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です）

お買い上げ日	年　　　月　　　日	品番 DP-C262/C262F/C322/C322F
販売店名	電話（　　　）　　-	
サービス実施会社名	電話（　　　）　　-	

パナソニック コミュニケーションズ株式会社
オフィスネットワークカンパニー

〒153-8687　東京都目黒区下目黒2-3-8　電話(03)3491-9191

L0505-5036
PJQMC0314YE
March 2006
Published in Japan